



特定非営利活動法人 鳥の劇場

〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野 1812-1

電話・ファックス 0857-84-3268

電子メール info@birdtheatre.org

ウェブサイト www.birdtheatre.org

特定非営利活動法人 鳥の劇場

2021年度 活動報告書

9月で活動開始15年、目指せ20年。
演劇の力を地域の未来の力に。
活動のいっそうの定着と発展をめざして。





04		ご挨拶
05		活動報告 01 年間プログラム
11		活動報告 02 鳥の演劇祭 14
16		上演舞台写真
18		活動報告 03 じゆう劇場
20		活動報告 04 トリジューク
21		活動報告 05 アウトリーチ活動
22		活動報告 06 鳥の劇場15周年感謝企画
26		活動報告 07 その他の活動
29		報道資料
36		[資料1]鳥の劇場2021年度プログラム 観客アンケート集計結果
37		[資料2]鳥の劇場2021年度収支決算

応援ありがとうございます！

2021年度は波乱の幕開けとなった。例年採択されていた日本芸術文化振興会の補助金が取れないことがわかったのは3月31日。その後資金確保に奔走し、各所と調整を重ねる中で、なんとか一年を乗り切った。この影響で毎年3月にやっている新作上演が不可能となった。

一方で大きな喜びもあった。発生した資金難を多くの人たちが我が事として捉え、それぞれの立場で鳥の劇場のために力を尽くしてくださった。感謝の一言で表すにはあまりあるものがある。多くの心配の声をいただいたし、サポーターの方々からの寄付は、7,680,000円(1,536口)となった。『どろぼうがっこう』県内巡回公演も、この流れの中で実現された。我々が活動開始当初から願っていたのは、コミュニティの中で必要不可欠なものとして劇場が位置付けられることだったが、今回の事態により、我々の活動が多くなの人の心にそう位置づけられていると実感することができたのはいろいろな意味で大きな支えとなった。劇場の危機を乗り越えるために支援くださった多くの方々にあたためて深くお礼を申し上げたい。

今年動き始めた新しい活動のことも紹介しておきたい。我々の活動は使われなくなった学校の校舎を基盤としている。エントランスから劇場入り口までが旧幼稚園、劇場が旧体育館。その奥がバックヤードで、職員室や教室などを各種作業や小道具・衣装などの

保管場所としている。このバックヤード部分の老朽化が激しく、もはや修繕レベルではないので建て替えが必要なのだが、所有者の行政にはその負担が大きい。同様の廃校舎はたくさんあるし行政の事情もよくわかる。一方で、劇場としてバックヤードは絶対に必要である。それではということで、鳥の劇場が中心となって必要な新施設を建てようという決断をした。ただ、鳥の劇場の力だけでは資金調達は難しい。そこは、行政が地域振興の計画を立て、大きな計画(物語)の中に鳥の劇場の施設新設も位置付け、建設に対する補助を考えましようということになった。詳細はまた公開させていただくが、劇場周辺の鹿野地域の皆さん、行政の皆さんの前向きな姿勢には大きく勇気づけられている。

いろいろなことが起こった2021年だったが、コミュニティとのつながりを確認できるという望外の収穫が多かった。一方で活動の安定化は積年の課題であり、この先2023年度に向けてできる対応はしっかりしていかなければならない。

最後になったが、改めて、昨年度の皆様からのご支援に対し心より御礼申し上げ、あいさつとさせていただきます。

特定非営利活動法人 鳥の劇場
代表理事 中島諒人



活動報告

01

年間プログラム

左にも書いた資金確保の失敗により、鳥の劇場の主催事業は下記のように例年より少なくなった。創るプログラムでは『裸の王様』をフリージャズのバンド「渋さ知らズ」のチームと共演した。リーダー不破大輔さんを中心とするバンドの皆さんのアイデアと柔軟さ、芝居への献身により素晴らしいコラボとなった。音楽への興味から初めて劇場に足を運んでくれたお客さんが多かったことも収穫だった。俳優にも多くの客演を迎え、華やかな雰囲気の中で多くの観客に公演を楽しんでもらうことができた。

いっしょにやるプログラム「小鳥の学校」は定番の人気企画で、小5から中3までの参加者と芝居を作る。今年もコロナの影響があり、多くの授業をビデオ会議システムを使ったリモート授業の形で実施せざるを得なかったのがとても残念なところだった。特に年少の参加者には難しさがあったようだ。鳥取県内全域から参加者が集まる事業なので、感染拡大防止への配慮と対面での通常実施の狭間で実施側も判断に迷う部分があった。けれど、最後は少ない準備時間の中で集中して公演をまとめ上げることができ、多くの観客にとってもコロナ禍の中での希望の光となった。

作曲という少し珍しい体験ができるワークショップを、あえて男性だけに焦点を絞って届ける企画が「おとこのための作曲入門ワークショップ」である。参加者が少なかったの

は、広報の不足が原因だろうか。多様な人たちが、それぞれに自分の好みの表現と出会い、表現活動をして充実を感じ、他の人ともつながっていく場となるのが、鳥の劇場が次のステップとして目指すところの一つである。表現ワークショップの楽しさの輪を粘り強く広げていかなければならない。

期間
2021年4月～2022年3月
会場
鳥の劇場
実施
年間プログラム来場者数(延べ)1,500人
上演プログラム
2演目・12回上演 来場者数計1,151人
上演以外
8事業・57回開催 参加者数計349人
有料ストリーミング配信
公開期間：6月28日～7月31日(34日間) 演目：『裸の王様』 視聴数計：10人

創るプログラム

劇場ですぞ「5月のいちにち。」
『裸の王様』公演・
アート体験のワークショップ
～なってみよう つくってみよう～

いっしょにやる プログラム

子どものための「小鳥の学校」

いっしょにやるプログラム ×試みるプログラム

おとこのための作曲入門
ワークショップ
「好きな詩で創ってみよう
オリジナルメロディ」

【主催】特定非営利活動法人鳥の劇場

【後援】鳥取県 鳥取市

鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会
NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター
新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野



創るプログラム

劇場ですぐ「5月のいちにち。」

——『裸の王様』公演とアート体験のワークショップ

【演出ノートより】

おしゃれが好きな王様が詐欺師にだまされ、存在しない洋服を着て、つまりはだかで街に出て子どもに笑われるというアンデルセンの物語。これをもとに寺山修司が台本にした芝居。原題は「皇帝の新しい服」、邦題はだまされた王様の愚かさを笑う感覚が強いですが、原題だと「服」に焦点があって、権力者と大衆の間のイメージのやりとりに着目しているように思えます。

政治のみでなく日常の場でも、迫力とかオーラとか威厳とかいろんな言い方で、単に着ているものだけではない捉えで力のある人を講え、その言葉に当の本人も巻き込まれることはよくあるように思います。昔教科書で読んだ菊池寛の「形」は、無敵の武人の鎧が戦場でどのような力を発揮するかを描いた作品ですが、この物語に少し似ています。

物語展開とともに面白いのは歌。歌人寺山の本領発揮で不思議な歌詞がたくさん登場します。見えない布を織りながら歌われるのは「チンカラトントンハタリコン」、知恵を自慢する男が繰り返すのは「しゅくしゅくどん」、王を笑う子どもは「ガラガラアッハッハクスクス チョン」。さまざまに彩られた歌詞に座付き作曲家・武中淳彦が曲をつけ、ジャズバンド「渋さ知らズ」が生演奏で芝居を盛り上げます。

例年大型連休の公演は子どもたちが多く来てくれます。子どもたちの笑い声が響く劇場は本当に幸福な場所です。

上演の前にはアート体験のワークショップもあります。まだまだコロナの状況が落ち着かないのですが、対策はしっかりとっております。安心してご来場ください。

演出家／鳥の劇場芸術監督 中島諒人

新作『裸の王様』

上演
8回 来場者数計750人

有料ストリーミング配信
6月28日(月)～7月31日(土) (34日間) 視聴数計10人



■原作／寺山修司
■構成・演出／中島諒人
■演奏・編曲／渋さ知らズ
■作曲／武中淳彦
■出演／王様：高橋等 アップリケ、お針子ヤヤ：大川潤子 ホック、戦争大臣ブルーマー、家来、お針子：安田茉莉 王女ポケット、眼鏡屋ピンタック、お針子、街の人：下地萌音 王女の婚約者アロハ、街の人：後藤詩織 外務大臣モモヒキ、大学教授ワンピース、街の人：齊藤頼陽 内務大臣ステコ、情報大臣タイツ、街の人：中垣直久 衣装大臣チェック・バーバリ・タータン、お針子、街の人：三輪冬子 デザイナーフリルフリル、お針子メメ、王妃パジャママ、街の人：斎藤友香莉 ペテン師スリッパ、子ども、警視総監ファスナー：中川玲奈 ペテン師スリッパ、子ども：ホリユウキ[DULL-COLORED POP] 街のおばあさん：赤羽三郎

■音楽／

【渋さ知らズ】

ギター、ベース：不破大輔 パーカッション、キーボード：玉井夕海 トランペット：北陽一郎 ソプラノサックス、テナーサックス：松本卓也

ヴィオラ、ヴァイオリン：武中淳彦

■スタッフ／舞台監督：中井尋央[ステージワークURAK] 舞台美術：カミイケタクヤ 照明：久松夕香 照明補助：生田正 伊中昌宏 照明協力：オハラ企画 音響：原伸弘[オハラ企画] 舞台補助：表峰七登 衣装デザイン・製作：KiRi[tathagata] 衣装製作：安田茉莉 中島紀子 映像撮影：服部かつゆき 歌唱指導：寺内智子 日本語字幕ボランティア：増川智子 制作：鳥の劇場

【学校招待】

実施 2回 学校招待者数計163人

4月28日(水) 鳥取市立鹿野学園 『裸の王様』上演

4月30日(金) 鳥取市立逢坂小学校 『裸の王様』上演とワークショップ

【助成】AFF ARTS for the future!

(コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)

令和3年度文化芸術地域モデル全国発信事業補助金

【協力】読み聞かせグループさくらんぼ 鳥取県文化振興財団 たまだ屋城北せんべい店

アート体験のワークショップ

～なってみよう つくってみよう～

ワークショップ 5種・26回 参加者数計160人

■大人も子どももいっしょ! 短いお話でお芝居を作ろう

実施 6回 参加者数計18人 講師：中島諒人

■さっきみたお芝居の人になってみよう!

実施 8回 参加者数計38人 講師：中島諒人・『裸の王様』出演俳優

■作ってみよう!オリジナルメロディ

実施 1回 参加者数2人 講師：武中淳彦

■もじゃと小松の動画づくり教室

実施 6回 参加者数計45人
講師：服部かつゆき(映像作家)・小松亜希恵(中学校教諭)

■ペタペタはって作ろう!『裸の王様』バッグ

実施 5回 参加者数計57人 講師：タターガタ(KiRi & 友金千恵美)



お客様の声

『裸の王様』

- おしばいを見てえほんよりおもしろかったのでふしぎでした。また見たいです。(10歳未満女性)
- 自分の意志を持ってない感じが問題になっていて、自分にも響きました。王様が一人になったとき、いじめのようなものが思い出されて少し怖くなりました。集団に対して独りになることは、とても怖いことだなと…。周りの目を気にしたり、少人数だと勇気がいり、みんながやっているとやりやすいけど、やり始めることや一人でやり続けることが怖くて、自分には関係ない目をそらすことに慣れてしまった感じが少し自分にも似ているなと感じました。(10代女性)
- 非常におもしろかったです。私は今まで、はだかの王様という話を、あ～パカな王だ～。と思い、読んでいました。しかし、そうじゃないのかもしれない。誰もがみな、首をたてにふり、「私には見える」という、それが人間なのでしょうか。鏡を使い、後ろにももう一つ場所のある大がかりな舞台、なんどもこちらに問かけけるような演出、そして物語とマッチした音楽、どれもすばりかったです。ありがとうございました。(10代男性)
- 今年はゴールデンウィークに鹿野まで行くことができて嬉しかったです。生の舞台の、何かを考えさせる、何かを感じさせる力はすごいですね。子どもたちは時間がたってからも劇中の歌を歌ったりしています。これから子どもと一緒に参加できるこの企画を楽しみにしています。(30代女性)
- 「王様は裸だ」も「裸じゃない」も、私は言えないかもしれないと思いました。おかしいと思ったら立場や忖度なく表現しようと勇気をもらいました。このご時世にぴったりのテーマですね。(30代女性)
- おかしいと思っていても言わない、動かない。大多数が向いている方向は向くべき方向?一人一人が立ち止まって考えることの大切さ、うまく言えませんが、とても怖かったです。知らず知らず手のひら返す側にまわっていたりしないだろうかと不安になりました。(40代女性)
- テーマへの迫り方がとてもおもしろく興味深く感じました。現代社会におきかえて考えてみると、考えさせられる場面も多かったです。1人の役者さんがいくつかもちで演じられていて変身ぶりや演技力も見ごたえがありました。今日は午前中のワークショップからずーっと参加してきました。本当に充実した一日になりました。有難うございました。(60代女性)



「大人も子どももいっしょ！ 短いお話でお芝居をろう」

- 体を動かしながら人物の感情を想像しながら声を出していくと、朗読とは全くちがう物語の体験になることにおどろきました。すごく楽しかったです!(40代女性)
- 体験することで演劇をみる視点も深まりそうです。ありがとうございました。(40代男性)
- 最初緊張しましたが、中島さんのお声がけで作品の中に集中できて、全体にとっても楽しくできました。本に書かれてあること以外にもくみとって、ふくらませて、物語が立ち上がっていくのがおもしろかったです。ラストシーンがテキストでは感動的なシーンに思えたのですが、やってみるとモーレツに笑えて、お祭り気分で花びら舞い散るくらいのパレード気分になりました。イメージとやってみると大違いでした。想像力がすごいなと思いました。(50代女性)

「さっきみたお芝居の人になってみよう！」

- さっきみたばかりのおしばいを、今すぐその場でできて、とても楽しかったです。(10才未満女性)
- さっき見た舞台の上で動くというわくわく感と、自分を解放して演じられる楽しさがありました。また機会があれば参加したいです。(10代女性)
- 演劇的な声の出し方、身体の動かし方は普段なかなかできないので気持ち良かったです。(30代男性)
- 参観した劇のせりふを自分でやることで、より登場人物の心情に迫れました。監督さんの自らの指導をあおげ感激でした。(60代女性)

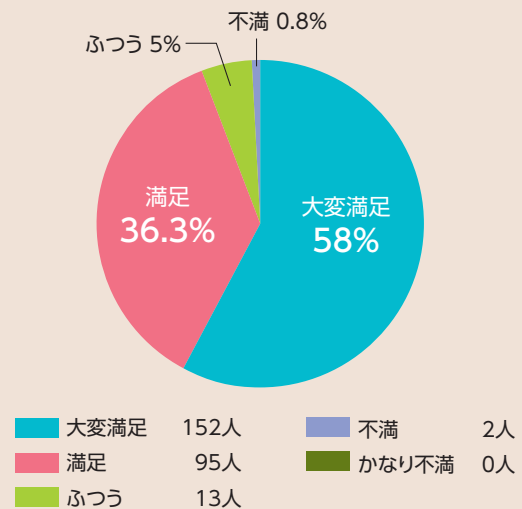
「もじゃと小松の動画づくり教室」

- なんかいもしくなりました。(10才未満女性)
- 学校でもできたらいいなと思いました。(10代女性)
- 楽しい時間をすごさせて頂きました!新しいiPadの機能も教えて頂き、世代の違う他の参加者との交流もうれしかったです!(40代女性)
- ipadはこんなに気軽に動画を作れてビックリ。(40代男性)
- 動画編集、むずかしくていつも心が折れていたのですが、こんなに簡単にすてきにでき上ってうれしいです。(50代女性)

「ペタペタはって作ろう!『裸の王様』バッグ」

- たくさん布があって選ぶ楽しさもありました。思い思いに使うて自由に作っていて、とてもいい経験になったと思います。(10才未満男女・母)
- 楽しかった。(10才未満男性)いっしょにひとつのものをつくるのがたのしかった。劇を見る前でまた自分なりの王様もイメージできてよかったようす。(母)
- いっぱいたのしかったです。(10才未満男性)子どもの希望で参加しましたが、大人も夢中になって楽しめました。ぜいたくな衣装のハギレを使わせていただいてとてもかわいいバッグができてよかったです。(40代女性)
- これから鑑賞する舞台衣装の生地を使ってという発想が良かったです。あの生地使ったワと思って見られる楽しさも増えました。(60代女性)

この公演に対してどれくらい満足していますか？



いっしょにやるプログラム

子どものための「小鳥の学校」

期間

8月21日(土)～2022年3月21日(月・祝)

実施

26日間(授業24回／成果発表公演2回) 受講生23人
(来場受講 延べ323人／オンライン受講 延べ151人)

小鳥の学校は、<自分で考える、行動する子ども>を目指す創造的な学びと成長の場です。子どもたち一人ひとりの多様な個性・才能を、演劇づくりを通じて見出し、互いに尊重しながら可能性の芽を伸ばしていくことを目指しています。12回目の今回は、小鳥の学校卒業生も「ジュニアスタッフ」として加わり、受講生の成長を支えました。

本来ならリハーサルを本格化する1～2月が、県内感染拡大のためリモート授業になる、という最大のピンチがありましたが、リピーターを中心に「どうしても最後までやりたい」という気迫と集中力で、ラストシーンまでつくりあげました。課題としては、◎ネットの活用にはばつきがある

【実施内容】

- 8月21(土)＝【zoomでオリエンテーション】※午前・午後で分散。個別面談と並行して、「zoomワークショップ」をジュニアスタッフが進行。楽しくコミュニケーションしながら、小鳥の雰囲気やアプリ操作に慣れていきました。
- 9月12(日) 18(土) 19(日) 25(土)＝【鳥の演劇祭14で出会おう!】※1人2日間ずつ選んで分散。講演・ワークショップ・観劇などの演劇祭プログラムを通して、感じ、考えたことを言葉にしてみます。初めて会う受講生同士に緊張しつつも、ジュニアスタッフが用意した面白いミッションに挑戦していくうち、表情豊かになっていきました。
- 11月13(土) 14(日)＝【やりたい題材を選ぼう。本をいろいろに解釈しよう。】『青い鳥』『森は生きている』どちらにするか、グループで打ち合わせて演じることをくりかえして、それぞれの世界観を感じとりました。発表しあう中で、劇づくりのコツも掴み、細かい工夫や堂々とした立ち姿が見られました。
- 12月11(土) 12(日)＝【配役を決めよう。衣装・音楽・舞台美術を考えよう。】配役決定!実際に演じてみて、2日間かけて全体の流れを共有しました。自分の演じる役はどんな人物なのか? キャラクターシートをそれぞれ掘り下げて、年明けからのリハーサルに備えます。仕事班での打ち合わせもスタート、Google Classroomも活用して話しあっていました。
- 2022年1月22(土) 23(日) 29(土) 30(日)＝【演じる、観察する。】※感染症状況を受け、リモート実施。映像で外国の上演などを見比べ、照明・音響・舞台の説明も受け、自分たちならどうするか、考えました。仕事班ごとに作業リストアップや課題を整理していきます。自宅にあるものを使って衣装や小道具を工夫し、zoomで場面撮影も行いました。
- 2月5(土) 6(日)＝【チラシデザイン。自分たちでリハーサルと作業。】※リモート。全員zoomは両日1時間のみで「みんなで楽しく体を動かして、小鳥体操をつくらう!」。それ以外の時間で、自分の演じる役のプロモーションビデオ撮影、チラシデザイン、背景づくり、演技の練習などを各自で行いました。
- 2月20(日)＝臨時追加日。※仕事班ごとに3時間ずつ分散。実際に劇場で試せる日として追加。舞台美術や音楽の試し、衣装探しやフィッティングを、時間と空間を区切って行いました。
- 3月5(土) 6(日)＝【衣装・音楽・舞台美術を試そう。】ようやく劇場でリハーサルがスタートしました!ここからどれだけ進められるか!?舞台で演じてみてはじめてわかる課題にどんどん取り組んでいきます。
- 3月12(土) 13(日)＝【進行を考えよう。通してやってみる。】12日は、小鳥の学校受講生とジュニアスタッフで自主練習。自分たちで課題を見つけ進めていさずがでした。13日は、劇場でリハーサル。なんとか5場まで進みました…!「途中まで上演、という選択肢もあるよ」という中島さんの投げかけに、場が凍りついたあと、ぶんぶんと首をふり、「最後までやりたい」という声があちこちであがりました。
- 3月15(火) 17(木) 18(金) 午後＝希望者追加日。来られる人のみ作業&練習。限られた時間でどんどん作り、場面稽古でぐっと演技が深まり、どんどんよくなっていきます。
- 3月19(土)＝きかけ確認。通そうとする。
- 3月20(日)＝ゲネプロ(本番通りのリハーサル)、発表公演①
- 3月21(月・祝)＝発表公演②、修了式。



発表公演『森は生きている』

日程	上演
2022年3月20日(日)・21日(月・祝)	2回 来場者数計238人

■原作／サムイル・マルシャーク
■構成・演出／小鳥の学校受講生と中島諒人
■出演／小鳥の学校受講生：池口依怜 泉晶 植田菜花 宇山実桜 亀井彩加 木島寧玖 北直己 佐藤瑠海 佐野旬奈 高橋鳴 種原大悟 田村綾梨 津村京司郎 永川嬉來 永川楽來 西川喜八 濱口志帆 東方すみれ 森たま子 安田柑奈 山田笙介 山根小夏 渡邊寧々
■スタッフ／
衣装チーム：高橋鳴 田村綾梨 植田菜花 宇山実桜 佐藤瑠海 東方すみれ 池口依怜 森たま子
舞台チーム：西川喜八 種原大悟 亀井彩加 永川楽來 山根小夏 安田柑奈 佐野旬奈 永川嬉來
音楽チーム：木島寧玖 泉晶 津村京司郎 渡邊寧々
照明チーム：山田笙介 北直己 濱口志帆

【受講生の「やってよかった」理由】

- 様々な学年の人、性格の人と一緒に、ひとつの目標に向かって、子どもの力でやるという機会がないので、新鮮だった。自分達でやるので達成感がある。本当に小鳥の学校があってよかった。(小6)
- 気が進まない日もあったけど、本番直前からとても楽しくて、達成感を得ることができたから。(小5)
- ギリギリでもなんとかできるという事がわかったから。(小5)
- 劇を通して自分で考えることを学び、仕事を通して自分のことができることできないことがわかった。(中2)
- 3回小鳥をして自分でも演技の面、仕事の面での成長を感じられるし、他の学校の友達と色々考えを出し合いながら活動できることにやりがいを感じる。(中2)

【保護者の声】

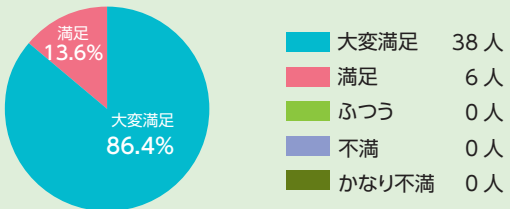
- 制限がある中でそれぞれが考え、数少ない回数でも集まった時には集中して皆で協力して、公演にこぎつけたことによる達成感は大きいと思う。(中1保護者)
- 子どもの表情が豊かになった(幼稚園の頃に戻った)ように感じました。(中3保護者)
- たくさんの歯車のうちの一つになる喜びを体験できたと思います。本人がそれを実感するのはまだ先でしょうが、その時にはわからない感覚の答え合わせをしながら、できるだけ長く関わってほしいと思っています。(小5保護者)



【お客様の声】

- 小鳥はいつもみていて、楽しいです。今小4なので来年参加したいです。とても楽しみです。(小学生女性)
- すごかったです。音楽は勝手に、大人が作ったものだと思ってたんですが、全部子ども達だけで作っていることにすごく驚きました。1人1人、一つ一つの役にみんなひょういして、本当にすばらしかったです。(中学生男性)
- 今回、初めて「小鳥の学校」の公演を拝見しました。どんな雰囲気であんな内容なのか分らなかったのですが、どの子も「人の心を動かす」演技ができており、観ていて心がじ〜んとしたり、笑顔になったり、感情移入しました。(20代男性)
- 初めて劇場に来て見せていただきました。演者の一人一人が、目的や理由を持って演じていらっしゃるように見えました。こんなにも素晴らしい演技を生で見られて感激しました。感動です。(40代女性)
- ゲームに夢中になってしまう子が多い中、他人と意見をぶつけ合ったり、協力して知恵を出し合い一つのを完成させていく取り組みはすばらしいと思います。(40代女性)
- 子どもたちの、終わった時の”やりきった”という顔が、いつ見てもいいです。心が洗われます。(40代男性)
- 大変感動しました。自身の子どもが参加していたわけでもない中、単純に涙が出て来ました。コロナ禍の世の中で、人と人とのつながりや、他の人に何かを伝えることの「力」や演劇というコンテンツの「すばらしさ」を感じることができました。また、一人一人の取り組みだけではなく、この空間だからこそ、また子ども達自らがつくっている姿が、それをより一層、大きなものと感じています。ありがとうございます。(50代男性)

この公演に対してどれくらい満足していますか？



いっしょにやるプログラム × 試みるプログラム

おとこのための作曲入門ワークショップ「好きな詩で創ってみようオリジナルメロディ」

「作曲って私にもできるかな?」「曲つくってみたいけど、なんだか難しそう…」と、なんとなく作曲に興味はあっても足踏みしている人たち向けの講座です。
1回2時間の講座を3回行い、最後に自分の選んだ好きな言葉(詞でも、文章の一部でも)にメロディをつけます。
「自分のことばで歌いたい!」と自作の詩を持ち込んでくださるのも大歓迎。「表現」する喜びをサポートすることがこのワークショップの主目的です。
開講時には、思いがけないその人その人のドラマが作品とともに生まれます。
今後は、各々のユニークさを追求し個性を掘り下げていくこと、ゲーム感覚で自分ならではのメロディを生み出す喜びを感じてもらうことを目指し、作曲は私たちの生活のごく身近にあふれているのだということをお伝えする場として盛り上げていきたいと考えています。

実施
第1期夜間コース：5月14日(金)・21日(金)・28日(金) 参加者数1人
講師：武中淳彦(鳥の劇場音楽家)

会場
ギャラリー鳥たちのいえ

[全7期 午前・夜間13コース(1コース3日セット)]
※6期は夜間コースのみ」を計画していたが、コロナの影響により開催を見送った。



活動報告

02

鳥の演劇祭 14 “BIRD” THEATRE FESTIVAL 14

未来を選ぼう。「コロナ」の向こうに何を見る？

変わるべきなのに変わらない私たちの社会。先の見えない地方の生活。集まって考える場が必要だ。楽しむ、考える。「演劇」と「ちがう分野」の掛け算で出会いと思考の場を作る演劇祭。

人口減、高齢化、経済の衰退などで、地方は現在本当に厳しい状況にあります。今、地方で普通に暮らす人たちがこそが、腰をすえて考え、自覚的・主体的に未来のあり方を選択していかなければ、地方の良き未来は失われてしまいかねません。今年の鳥の演劇祭では、コロナ禍の中での安全を最大化しながら、コロナ後の世界のあり方を考えました。
本年度もコロナ感染が収束しない状況の中、外国劇団の招聘はなしとし、例年とは違う形の開催としました。
「演劇作品の上演」と「他分野の芸術家や専門家のレクチャー・ワークショップなど」を二本の柱とし、毎週テーマを決め講師の方から話を聞いたりワークショップをしながら、そして演劇作品を見ながら、コロナ後の社会のあり方について、地方での生活の未来のあり方について、多角的に思考する新しい交感の場となることをねらいました。また、同時期に開催される豊岡演劇祭との連携を図ることにより、情報発信力を強化し、両演劇祭一体となった誘客や地域間交流を目指しました。
しかし、新型コロナの感染拡大により県外からの招聘は断念せざるを得ず、野外劇場での公演も一週目のみとし、二週目以降は屋内劇場のみを上演会場としました。豊岡演劇祭も規模を縮小して行われ、法律による県境を越えた移動の自粛要請もあって、連携事業の実施は見送りました。また、いんしゅう鹿野まちづくり協議会主催の『週末だけのまちのみせ』事業も、同様の理由で中止となりました。
規模の縮小により、演劇祭全体の盛り上がりが危惧されましたが、一週目だけの上演だったとはいえ野外劇場が演劇祭全体のシンボルとなり、劇場での演劇上演と、日本を代表する社会学者の大澤真幸氏をはじめ、建築家の塚本由晴氏(アトリエ・ワン)、思想家の播磨靖夫氏(たんぼぼの家)、絵本作家の亀山達矢氏(ツペラツペラ)、教育学の刈宿俊文氏(青山学院大学)ら各界で活躍する学者・アーティスト陣の質が高く熱の高い講演や対談・ワークショップが共鳴し、幅広い年齢層の多様な人が集う中で、親密さと知的な興奮が交錯する非日常の場が生まれました。

変更内容について

※鳥取県からの特措法第24条第9項に基づく外出及び県境をまたぐ移動の自粛に係る協力要請(～9月12日)を受けて、内容を変更し、実施しました。

■ご来場の限定
ご来場を鳥取県、島根県、兵庫県香美町・新温泉町の方に限定し、ご来場をお断りした方々のために、各上演や企画のライブ配信(有料)を実施しました。
■上演を中止した作品
県外からの招聘作品を中止としました。
『おとしモノ』 泉果(東京)【協力】CAT-A-TAC
『みつばち共和国』 SPAC-静岡県舞台芸術センター(静岡)
【製作】SPAC-静岡県舞台芸術センター
【共同製作】カンパニー・ル・メロドローム(Le mélodrOme)
【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
■会場変更、上演回追加
『戦場のピクニック』『すてきな三にんぐみ』の会場を、「野外劇場」から「劇場」に変更し、両作品とも、13:30の回を追加上演としました。
■実施を中止した関連企画
豊岡演劇祭2021と結ぶ連携企画バスツアー
【旅行企画実施】一般社団法人麒麟のまち観光局
【企画協力】鳥の劇場運営委員会 豊岡演劇祭実行委員会 兵庫県豊岡市 鳥取県 鳥取市 一般社団法人麒麟のまち観光局



期間
9月11日(土)・12日(日)、18日(土)・19日(日)、25日(土)・26日(日)

会場
鳥の劇場

実施
6日間 来場者数(延べ)1,263人

上演プログラム
4演目・12回上演 来場者数計687人

アフタートーク
7回開催 参加者数計248人

上演以外のプログラム
12事業・14回開催 参加者数計275人(講演4種・4回・計100人、対談3種・3回・計56人、ワークショップ5種・7回・計119人)

関連企画
1事業・4回 計ご家族13組53人

有料ライブ・アーカイブ配信
上演4演目・講演4本・対談3本
視聴数計(全11プログラム)103人
※機材トラブルにより、一部のライブ配信をアーカイブ配信に変更した。

10th週末だけのまちのみせ
【主催】週末だけのまちのみせ実行委員会
(NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会内)
【共催】わったいな祭実行委員会
『果樹の里山』でいろいろ体験 いちじく刈り・栗ひろい、ピザ窯で焼く里山ピザ、里山フットパスとワークショップ

【主催】鳥の劇場運営委員会
【共催】鳥取県 鳥取市
【助成】 令和3年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業(一部事業除く) 令和3年度 鳥の劇場運営委員会補助金 鳥取市文化芸術事業に関する補助金(鳥の演劇祭14開催事業)
【後援】鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 米子市教育委員会 倉吉市教育委員会 境港市教育委員会 岩美町教育委員会 若桜町教育委員会 智頭町教育委員会 八頭町教育委員会 三朝町教育委員会 湯梨浜町教育委員会 琴浦町教育委員会 北栄町教育委員会 日古津村教育委員会 大山町教育委員会 南部町教育委員会 伯耆町教育委員会 日南町教育委員会 日野町教育委員会 江府町教育委員会 新日本海新聞社 朝日新聞鳥取総局 山陰中央新報社 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 産経新聞社 日本経済新聞社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 日本海テレビ BSS山陰放送 TSKさんいん中央テレビ 共同通信社鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク いなばぴょんぴょんネット エフエム山陰 FM鳥取・RADIO BIRD 鳥取県PTA協議会 公益財団法人鳥取県文化振興財団
【プログラム・ディレクター】
中島諒人(演出家／鳥の劇場芸術監督)

▼ 第一週 「私」の向こうに何を見る？

[上演プログラム]

『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの』

じゆう劇場〈鳥取〉※手話通訳あり

- 原作：ウィリアム・シェイクスピア
- 構成・演出：中島諒人 齊藤頼陽
- 出演：じゆう劇場
- 手話通訳：中嶋千鶴 綿本香穂
- 9月11日(土)・12日(日) 会場：鳥の劇場[劇場]
- 上演2回 来場者数計130人 (アフタートーク無し)
- 日本語字幕貸出：6台 英語字幕貸出：0台
- 音声ガイド受信ラジオ貸出：1台
- 有料アーカイブ配信 視聴数計15人
- ※機材トラブルにより、ライブ配信をアーカイブ配信に変更した。

【助成】大分県 令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
【協力】鳥取県
【機材協力】オハラ企画 鳥取県立鳥取文化財団



[講演]

講演：大澤真幸「新しい komunizmus へ — 人新世のただ中から考える」 ※手話通訳あり

- 手話通訳：徳永啓子 中江さとみ
- 9月11日(土) 会場：鳥の劇場[ホワイエ]
- 開催1回 参加者数28人
- 有料ライブ配信1回 視聴数5人



講演：播磨靖夫「非情芸術その未来 — 響き合う世界は美しい」 ※手話通訳あり

- 手話通訳：森田尚子 森原早百合
- 9月12日(日) 会場：鳥の劇場[ホワイエ]
- 開催1回 参加者数24人
- 有料ライブ配信1回 視聴数2人



【助成】令和3年鳥取県障がい者アート活動支援事業
【文化芸術の鑑賞機会拡大事業】

『ブレヒト版「アンティゴネ」』 鳥の劇場〈鳥取〉

- 原作：ベルトルト・ブレヒト
- 翻訳：谷川道子
- 構成・演出：中島諒人
- 出演：齊藤頼陽 中川玲奈 高橋等 中垣直久 安田茉莉 後藤詩織 大川潤子
- 9月11日(土)・12日(日) 会場：鳥の劇場[特設野外劇場]
- 上演2回 来場者数計99人 (アフタートーク1回 参加者数26人)
- 日本語字幕貸出：1台 英語字幕貸出：0台
- 有料ライブ配信1回 視聴数12人
- 有料アーカイブ配信 視聴数計5人
- ※機材トラブルにより、12日のライブ配信をアーカイブ配信に変更した。

【出典】光文社古典新訳文庫 ブレヒト／著 谷川道子／訳『アンティゴネ』
【機材協力】オハラ企画



[ワークショップ]

じゆう劇場の人たちと自由に体を動かそう ※手話通訳あり

- 講師：中島諒人
- 手話通訳：中江さとみ 中嶋千鶴
- 9月11日(土) 会場：鳥の劇場[劇場]
- 開催1回 参加者数15人



[対談]

対談：大澤真幸 × 播磨靖夫 ※手話通訳あり

- 手話通訳：須崎まり子 森田尚子
- 9月12日(日) 会場：鳥の劇場[ホワイエ]
- 開催1回 参加者数24人
- 有料アーカイブ配信 視聴数計1人

※機材トラブルにより、ライブ配信をアーカイブ配信に変更した。



▼ 第二週 「過去」の向こうに何を見る？

[上演プログラム]

『戦場のピクニック』

鳥の演劇祭14プロデュース作品

- 作：フェルナンド・アラバル
- 演出：中島諒人
- 出演：高橋等 中垣直久 後藤詩織
ホリユウキ (DULL-COLORED POP) 斎藤友香莉 下地萌音
- 9月18日(土)・19日(日) 会場：鳥の劇場[劇場]
- 上演4回 来場者数計183人 (アフタートーク4回 参加者数計137人)
- 日本語字幕貸出：5台 英語字幕貸出：1台
- 有料ライブ配信2回 視聴数計(2日間) 31人
- 【著作権代理】(株)フランス著作権事務所
- 【機材協力】オハラ企画

※『おとしモノ』 累累(東京)を、上演2回・アフタートーク1回で予定していたが、コロナ感染拡大により団体招聘せず。代替演目を『戦場のピクニック』に変更して各日、昼の部・夜の部の計4回上演となった。



[ワークショップ]

不条理劇『戦場のピクニック』を読む ワークショップ

- 講師：中島諒人
- 9月18日(土) 会場：鳥の劇場[ホワイエ]
- 開催1回 参加者数23人



家の図面を読むワークショップ1・2

- 講師：アトリエ・ワン 塚本由晴(建築家)
- 9月18日(土)・19日(日) 会場：鳥の劇場[ホワイエ]
- 開催2回 参加者数計44人



[対談]

対談：塚本由晴 × 中島諒人

- 9月19日(日) 会場：鳥の劇場[ホワイエ]
- 開催1回 参加者数18人
- 有料ライブ配信1回 視聴数2人



▼ 第三週 「図工」の向こうに何を見る？

【上演プログラム】

『すてきな三にんぐみ』 鳥の劇場(鳥取)



- 原作：トミー・ウンゲラー
- 構成・演出：中島諒人
- 出演：齊藤頼陽 中川玲奈 高橋等 中垣直久 安田茉耶
ホリユウキ (DULL-COLORED POP) 斎藤友香莉 下地萌音
- 9月25日(土)・26日(日) 会場：鳥の劇場【劇場】
- 上演4回 来場者数計275人 (アフタートーク2回 参加者数計85人)
- 日本語字幕貸出：2台 英語字幕貸出：0台
- 有料ライブ配信2回 視聴数計(2日間) 20人

※「みつばち共和国」 SPAC-静岡県舞台芸術センター(静岡)を、上演2回・アフタートーク1回で予定していたが、コロナ感染拡大により団体招聘せず。代替演目を「すてきな三にんぐみ」に変更して各日、昼の部・夜の部の計4回上演となった。

【ワークショップ】

ツペラ ツペラ
tupera tupera 工作ワークショップ
「なりきりお面をつくろう！」

- 講師：tupera tupera
亀山達矢(絵本作家)
- 9月25日(土)
会場：鳥の劇場【ホワイエ】
- 開催1回 参加者数26人



写真ワークショップ

『身近な自然を親子で撮影しよう！』
親子フォトキャラバン

- 講師：水本俊也(写真家)
- 9月18日(土)・19日(日)
会場：鳥の劇場周辺、鹿野町内
- 開催2回
参加者数計ご家族6組12人



【講演】

講演：荻宿俊文
「大人の中に生きる
『図工の時間』を考える」

- 9月25日(土) 会場：鳥の劇場【ホワイエ】
- 開催1回 参加者数22人
- 有料ライブ配信1回 視聴数4人



講演：亀山達矢
「tupera tuperaの絵本の世界」

- 9月26日(日) 会場：鳥の劇場【ホワイエ】
- 開催1回 参加者数26人
- 有料ライブ配信1回 視聴数2人



【対談】

対談：亀山達矢 × 荻宿俊文

- 9月26日(日) 会場：鳥の劇場【ホワイエ】
- 開催1回 参加者数14人
- 有料ライブ配信1回 視聴数4人



【関連企画】

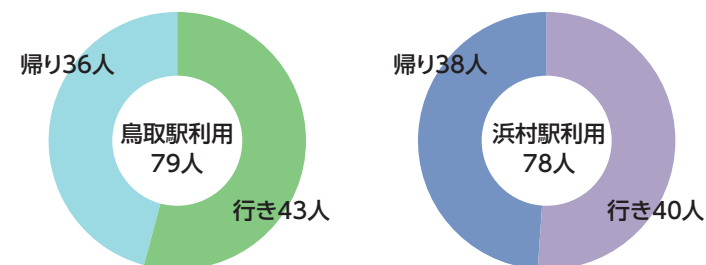
「小鳥の家族」

- 進行：水本俊也(写真家)
- 9月11日(土)・12日(日)・18日(土)・19日(日)
- 会場：鳥の劇場周辺、鹿野町内
- 開催4回 参加者数計ご家族13組53人

【トリバス(無料送迎バス)運行】

演劇祭期間中、各プログラムに合わせ、JR鳥取駅・浜村駅と鳥の劇場を結ぶ無料送迎バスを運行し、お客様にご利用いただきました。

6日間運行 利用者数(延べ)157人
(行き乗車数：計83人 帰り乗車数：計74人)



お客様の声

『プレヒト版「アンティゴネ」』

- 本日に久しぶりに生で演劇をみることができました。自然の中で直接役者さんの“生”のパワーを感じることができ、涙が出そうでした。「すっからかん」というセリフがすぐ残っています。そうならないように、本当に大切なものを見極めて大事にしたいと思います。(30代女性)
- 野外での公演を始めて鑑賞しました。外の景色と照明がとても良かったです。このような機会が、今後も失われることの無いようにと願います。(40代女性)
- 面白かったです。外で見るのも特別な感じがしました。(40代男性)
- 野外劇面白かったです。開放感があり、借景のような感じで、とても新鮮でした。(50代男性)
- 野外劇大変すばらしかったです!次も楽しみにしています!こんな時代です。ほんとうに共有してつながってゆきたいです。(60代女性)
- 野外舞台の美しさ。こんなお芝居が観たかった。大満足です。鳥の劇場の実力、気概を見た気がします。(60代男性)

『戦場のピクニック』

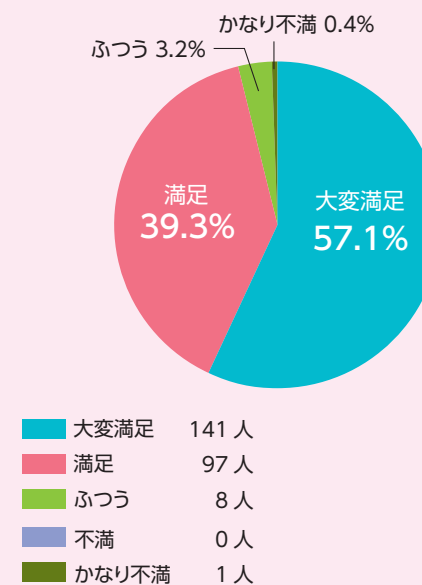
- 舞台は戦場ですが、今の世の中をまざまざと映し出していて、昔のことでも、他人事でもないかと改めて考えさせられました。私達1人1人ができることは少ないけど他人の気持ちを汲み取ることから始まるものがあるかと思います。すてきな舞台でした。ありがとうございます。(30代女性)
- 不条理劇と言うものの、見終わった時にモヤモヤが残らず非常にスウットとする演劇だった。この世の中、立場主義に溢れていて、戦争下での状況と変わらない。立場主義を完全に無視した劇中のお父さんとお母さんの存在が非常に気持ち良かった。…というようなことを帰りの車中で話していました。ものの見方、考え方、人の生き様、在り方、子供達に伝えたいけれども私ではうまく言葉にできないことが、鳥の劇場にいつもあります。今回も憧れを伴う体験でした。ありがとうございます。(40代女性)
- 演技終了後の俳優さんの表情をみていたら、うるっときました。演劇は心の内のものと外から与えられたものとの対峙で生まれていくのですね。自分のこととまわりを振り返ることができました。洗濯物と造花の演出がすばらしかった!(60代女性)
- 戦争に対する個人個人の立場の違い、考え方の違いから無意味な戦争への孤独と崩壊してゆく様から現代の私達の生活の中での不条理を考えさせられました。(70代女性)



『すてきな三にんぐみ』

- おもしろかった!本とちがった。長かったし知らないところがおもしろかった。みてよかった!(10歳未満男性)
- りっぱな村が作れたのでうれしかった。(10代女性)
- とってもおもしろかったです。さいごの方のあのテープがきれいでした。たくさんの小人がいておもしろかったです。また見たいです。(10代男性)
- 最後のHappyな光景がすばらしい!! 幸せな街づくりは、こうやって行動すれば、少しずつできそうと思いました。(30代女性)
- 絵物語をみているようでした。むすめのために選んだ演目でしたが、大人も楽しめる内容で、感動しました。ありがとうございました。(40代女性)
- とてもあたたかい気持ちになりました。余韻の残るステキな劇。"見えなものの目をこらして..."という言葉が心に残りました。(50代女性)

鳥の演劇祭14に対して どれくらい満足していますか?





裸の王様



ブレヒト版「アンティゴネ」



がまくんとかえるくん



戦場のピクニック



山椒魚



どろぼうがっこう



すてきな三にんぐみ





活動報告

03

じゅう劇場

期間
5月1日(土)～2022年3月11日(金)

実施
63日間 参加者数17人

障がいのある人とない人が一緒に舞台作品をつくるプロジェクト。2021年度も鳥取県内全域に「じゅう劇場」の出演者・支援者・お試し参加者を募集し、計17名の劇団員(鳥の劇場の俳優を除く)が集まりました(内11名は昨年からの継続参加)。未就学児から60代まで幅広い年代の参加で、障がいの有無だけでなく、様々な年代の人が入り混じった共生の形が生まれました。

長編作品として、2018年度に創作した『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの』のテーマはそのままに、新たな参加者の体験談を盛り込み、ロミオとジュリエットの家同士の争いを障がい者ばかりが働くコンビニとシングルマザーばかりが働くコンビニの覇権争いとして描いた作品を上演。差別とは持つものと持たざるものの対立だけではなく、困難を感じているもの同士でも起こると観客に訴えかける作品となりました。

短編作品としては、過去の上演作品である『いらっやいませ、ウォルマートへ』、『たぶん、朝食の後に』を配役を変えて県内外で上演しました。『たぶん、朝食の後に』の出演者は、じゅう劇場の参加者のみで構成し、今までにない試みとなりました。

ニューヨークの劇団TBTBとの共同制作では、昨年度共同で制作した短編作品『CTRL L』『The Casting Party』の連作として、『A Difference of Beauty』に取り組みました。『A Difference of Beauty』は、劇団TBTBの指名したアメリカ人の作家が、オンラインでじゅう劇場の参加者に直接インタビューを行い、その参加者にあて書きする形で書き下ろした作品です。出来上がった戯曲をもとに稽古を行い、稽古最終日には内部リーディングとして関係者に発表し、感想や質問などを共有し、次年度の舞台化へ向けての足がかりとしました。

また、新たな海外との共同制作として、韓国芸術総合大学との共同制作を実施。韓国人劇作家の書いた「とある村」の戯曲をもとに稽古、リーディング形式での上演を行いました。

【主催】鳥の劇場運営委員会
【協力】鳥取県
【助成】大分県 令和3年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
令和3年度鳥取県障がい者と健常者が共につくる芸術事業費補助金(一部事業除く)

鳥の演劇祭 14

『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの』 ※手話通訳あり 稽古 21回



日程 9月11日(土)・12日(日)
会場 鳥の劇場[劇場]
上演 2回 来場者数計130人 日本語字幕貸出:6台 英語字幕貸出:0台 音声ガイド受信ラジオ貸出:1台
有料アーカイブ配信 視聴数計15人 ※機材トラブルにより、ライブ配信をアーカイブ配信に変更した。

【ワークショップ】

じゅう劇場の人たちと自由に体を動かそう ※手話通訳あり

日程 9月11日(土)
会場 鳥の劇場[劇場] ■講師/中島諒人
実施 1回 参加者数15人 ■手話通訳/中江さとみ 中嶋千鶴



■原作/ウィリアム・シェイクスピア
■構成・演出/中島諒人 齊藤頼陽
■出演/じゅう劇場:井谷優太 井谷憲人 北村未菜 島田ひかる 西垣伸子 和田尚也 石井優美 山本英子 大黒めぐみ 村上明美 谷田耀 坂本恵子 山根千恵 山根秀幸 西川穂香 鳥の劇場:齊藤頼陽 後藤詩織 高橋等
■スタッフ/舞台監督:三津久 照明:伊中昌宏 音響:大黒裕典[オハラ企画] 舞台スタッフ:竹腰かなこ 衣装:安田茉耶 劇中歌作曲:井谷優太 映像オペレーション:北村公美 着替え補助:島田敬子 西川由美子 和田ひとみ 手話通訳:綿本香穂 中嶋千鶴 音声ガイド作成・オペレーション:田中京子[Reading ACT] 字幕オペレーション・英語字幕翻訳:増川智子
【機材協力】オハラ企画 鳥取県立鳥取文化財団

短編作品 『いらっやいませ、ウォルマートへ』 『たぶん、朝食の後に』 稽古 16回

令和3年度鳥取県障がい者舞台芸術祭 あいサポート・アートとっとり祭2021 ※WEB開催

演目 『いらっやいませ、ウォルマートへ』
日程 10月16日(土)・17日(日)
会場 米子コンベンションセンター[多目的ホール]
上演 2回
無料ライブ配信 2回 視聴数計(2日間)2,773人
ストリーミング配信 11月1日(月)～11月30日(火)(30日間) 視聴数計5,834人 ※視聴数はあいサポート祭全体の数です。



紀の国わかやま文化祭2021

演目 『いらっやいませ、ウォルマートへ』・『たぶん、朝食の後に』
日程 11月19日(金)・20日(土)
会場 和歌の浦アート・キューブ
上演 2回 来場者数計88人



ワークショップキャラバン

演目 『いらっやいませ、ウォルマートへ』・『たぶん、朝食の後に』+じゅう劇場の人たちとワークショップ

日程 11月5日(金)
対象 鳥取県立境港総合技術高等学校
会場 鳥の劇場
上演 1回 参加者数10人



日程 11月23日(火・祝)
会場 鳥の劇場
公開ゲネ 1回 来場者数11人



日程 11月24日(水)
会場 鳥取県立境港総合技術高等学校
上演 1回 参加者数59人



日程 11月27日(土)
会場 鳥取大学
上演 1回 参加者数3人



日程 11月29日(月)
会場 鳥取県立米子東高等学校
上演 1回 参加者数12人



日程 11月30日(火)
対象 鳥取県立鳥取西高等学校
会場 鳥の劇場
上演 1回 参加者数290人

リーディング公演 稽古 7回

演目 「とある村」
日程 1月8日(土)・9日(日)・10日(月・祝)
会場 鳥の劇場
上演 3回 来場者数計74人



TBTB 作品リーディング内部発表

演目 「A Difference of Beauty」 稽古 3回
日程 1月8日(土)・9日(日)・10日(月・祝)
会場 鳥の劇場
上演 3回 参加者数計13人



障がいのある人の舞台芸術活性化のためのビデオミーティング

中四国、関西、関東の障がい者による舞台芸術に携わる6団体に声をかけし、舞台芸術活動活性化のためのビデオミーティングを実施した。各団体の本年度の活動や今後の活動、現状での課題を共有し、連携の強化を図った。

日程 3月11日(金)
実施 1回 参加者数8団体16人



活動報告

04

トリジユク

「トリジユク」は、演劇を使った表現ワークショップを学校教育の中で実施することにより、児童生徒の非認知能力を伸ばし、コミュニケーションの力、協働する力、新しいことに挑戦する力などを高めることを目指しています。将来的に、子どもたちが自ら地域の課題解決に取り組む人材となり、過疎化が進むコミュニティの中で将来の予期できない困難にも対応できる能力を持ってもらうことがこの事業の大きな目標です。あわせて、この取り組みが地方における人材育成のモデルケースとなり、鳥取県内の他地域にも広がっていくことを目指しています。

2021年度は、鹿野学園においては全学年のワークショップの内容、目的等を体系的に整理、先生方と共有し、教員との事業目的の深い共有ができるようにしました。これは、振り返りプロセスである「省察」を教員にやってもらうことで、ワークショップ実施の意義をより大きくするためでもあります。青谷高校では、生徒の特性に合わせての彼らの巻き込みがかなりうまくいくようになりました。教員もその成果に驚かれており、ますます積極的な関わりになってきています。

今後もこのトリジユクの取り組みが鳥取県の他地域に広がっていくことも目標に、様々な角度から働きかけを行いたいと考えています。

【主催】鳥の劇場運営委員会

【共催】鳥取県 特定非営利活動法人鳥の劇場

【助成】令和3年度 鳥の劇場運営委員会補助金  文化芸術による子供育成総合事業
ーコミュニケーション能力向上事業ー(学校申請方式)(※ダンスWSとメディアWS)

【協力】青山学院大学社会情報学部附属社会情報学研究センター学習コミュニティデザイン研究ユニット NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会

【教育活動アドバイザー】刈宿俊文(青山学院大学社会情報学部教授)

1年 演劇 WS 「おしえてリレー」 演劇 WS 「にんじゃがっこう」 演劇 WS 「ジェスチャーゲーム」 演劇 WS 「にんじゃがっこう」 オンライン	7年 演劇 WS 「ちょっとだけお芝居の台本を書いてみよう」 青学 ダンス WS オンライン 青学 メディア WS 演劇 WS 「加米良萬」
2年 演劇 WS 「インタビューリレー」 演劇 WS 「にんじゃがっこう」 演劇 WS 「ジェスチャーゲーム」 演劇 WS 「にんじゃがっこう」 オンライン	8年 演劇 WS 「裏もたろう 物語にない部分を想像してみよう」 演劇 WS 「カタルト情熱大陸」
3年 演劇 WS 「むかしはなしメンバーチェンジ」 演劇 WS 「はかせの大発明」	9年 演劇 WS 「思い出演劇」 青学 メディア WS オンライン
4年 演劇 WS 「詩の中の〇〇になってみる」 演劇 WS 「詩の中の〇〇になってみる2」 青学 ダンス WS オンライン 青学 ダンス WS オンライン 青学 メディア WS 青学 メディア WS	青高3年 演劇 WS 「お互いのことを楽しく知り合おう」 演劇 WS 「体を使って伝えよう」 演劇 WS 「役になりきって演じてみよう」 演劇 WS 「違うキャラクターを演じてみよう」 演劇 WS 「即興力をいかけてお芝居を作って、発表しよう」 メディア+演劇 WS 「[ドリコマ] 作品をつくってみよう」 演劇 WS 「台本をつくってみよう」 演劇 WS 「台本をふくらませて、演じてみよう」 演劇 WS 「思い出を劇にしよう!」 オンライン 演劇 WS 「18 人分の思い出を劇にしよう」
5年 演劇 WS 「こわれた千の楽器」 演劇 WS 「こわれた千の楽器 2」 「絵の中の〇〇さんと話してみよう」	
6年 演劇 WS 「ちょっとだけお芝居の台本を書いてみよう」 演劇 WS 「ヤギ博士」 演劇 WS 「見立てて、演じてみよう」	

〈トリジユク関連事業〉

2021年度は、継続実践している学校に加え、新規2校から「トリジユクWS体験」への応募があった。昨年初めて実施した「修学旅行WS」には、鳥根県を含む5校から依頼があり、日程調整のできた4校を受け入れた。いずれも事前にヒアリングを行い、WS体験がその場限りでなく、その体験を通しての気づきや学びを、その後の学校生活に活用していけるような連携を意識した。企業や大人向けのWSの要望もあり、実施体制を整えようとしている。

期間

5月26日(水)～2022年3月17日(木)

対象

鳥取市立鹿野学園全学年「表驚科」表現ワークショップ

1年24人 2年17人 3年33人 4年26人 5年22人

6年34人 7年21人 8年19人 9年34人

鳥取県立青谷高等学校地域環境芸術コース3年生
18人

会場

鳥取市立鹿野学園流沙川学舎・王舎城学舎

鳥取県立青谷高等学校

実施

45日(126コマ) 参加者数(延べ)1,711人

(鹿学40日、青高10日) ※同日に複数校で実施した日や
同日に2学年実施した日も1日と数えています。



活動報告

05

アウトリーチ活動

教育・福祉現場等での講座・ワークショップ・読み聞かせ

■保育園・幼稚園

◎鳥取市立鹿野幼児センターこじか園 読み聞かせ活動
5月～12月・6回(延べ554人)

■小学校

◎鳥取市立逢坂小学校 …(☆)、一部(★)
7月12日(月)・15日(木) 台本づくりワークショップ
対象：5・6年生(延べ31人)
10月～11月・10回 学習発表会支援 対象：全学年31人(延べ310人)
◎鳥取市立宮ノ下小学校 表現ワークショップ …(★)
10月26日(火) 対象：1～6年の特別支援児童14人+教諭4人+
参観日の保護者見学10人 計28人

■小中一貫校

◎鳥取市立鹿野学園 文化祭支援 …(☆)
10月20日(水) 対象：3・5年生55人
10月22日(金) 対象：1・2・4年生67人
◎鳥取市立鹿野学園 選択授業「演劇」コース講師 …(☆)
6月～2022年3月・28回 前期：10人・後期：12人(延べ304人)

■中学校

◎三朝町立三朝中学校 「総合学習」台本づくりワークショップ …一部(★)
7月～11月・10回 対象：3年生53人(延べ530人)
◎湯梨浜町立湯梨浜中学校 文化祭支援(人権劇のためのワークショップ)
10月22日(金)・28日(木) 対象：3年生演劇班40人(延べ80人)
◎鳥取市立千代南中学校 表現ワークショップ …(★)
2022年1月28日(金)・2月1日(火)(両日ともzoomにて実施)
対象：2年生25人(延べ50人)



専門性のアウトリーチ

■鳥取市立鹿野学園地域創造学校運営協議会 委員：中川玲奈
任期：6月1日～2022年3月31日
■第74回鳥取県東部地区高等学校演劇発表会 審査員：齊藤頼陽
6月4日(金)・5日(土) 会場：とりぎん文化会館梨花ホール
■令和3年度 3年目研修 講義及び演習「絆を深める人間関係づくり」
講師・指導助言：中島諒人
7月27日(火) 対象：小学校92人・中学校37人・義務教育学校2人・
高等学校19人・特別支援学校23人 計173人 会場：所属校(非集合
型遠隔研修)
■市民文化賞選考会 選考委員：中島諒人 8月19日(木)
■三朝町立三朝中学校 特別非常勤講師：中川玲奈 10月～11月
■中村哲医師2周忌追悼セミナー
「砂漠に水を！中村哲医師の“鉄の意志”を受け継ぐ～今ここにいる、
我々のできることは何か～」

■高等学校

◎鳥取県立境港総合技術高等学校福祉科
手話パフォーマンス甲子園に向けての支援
5月～9月・4回 14人(延べ56人)
◎鳥取敬愛高等学校 鳥取敬愛ふるさとキャリア塾
12月1日(水) 対象：1・2年生 10人

■特別支援学校

◎鳥取県立倉吉養護学校 表現ワークショップ
7月13日(火)・10月1日(金) (10月はzoomにて実施)
対象：中等部1～3年生16人(7月は+教諭4人+アイサポートセンター
職員3人見学)(延べ39人)
◎和歌山県立紀伊コスモス支援学校 読み聞かせ・表現ワークショップ
11月17日(水) 対象：5年生8人+教諭2人(+じゆう劇場2人+
県職員3人(見学)) 計15人
◎和歌山県立紀北支援学校 読み聞かせ・表現ワークショップ
11月17日(水) 対象：3・4年生8人+教諭3人(+じゆう劇場2人+
県職員3人(見学)) 計16人

■その他

◎「さくらんぼ」おはなし会 読み聞かせ活動
4月～12月・5回(延べ114人) 会場：鹿野学園流沙川学舎
◎令和3年度鳥取市立中央図書館 文字・活字文化の日記念講演会
朗読～宮沢賢治の世界へ～「オツベルと象」・「雪渡り」・「雨二モマケズ」
11月15日(月) 対象：一般30人
(☆)…[地域に演劇力お届け事業]
(★)…[ 子供ののための文化芸術鑑賞・体験支援事業
(学校による提案型)]

対談：浜本純逸氏(ベジャワール会とっとり 代表)×中島諒人(鳥の劇場
芸術監督・鳥取県教育委員会委員)
11月13日(土) 会場：さざんか会館
■令和3年度地域別劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会(東北
地域)
「地域劇場はどうあるべきか」 講師：中島諒人
12月7日(火)・8日(水) 会場：えずこホール(仙南芸術文化センター)
■令和3年度「全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会」
「障害者文化芸術活動の推進に向けて踏み出す初めの一歩～障害を超
えて、共感、共生に向かうために～」
講師：中島諒人
2022年1月13日(水) ライブ配信プログラム

小作品の上演

上演作品：「がまくんとかえるくん」
■美哉幼稚園 11月22日(月)・2回 計120人
■愛真幼稚園 11月26日(金)・2回 計134人





活動報告

06

鳥の劇場15周年感謝企画

鳥取県内ツアーどこでも鳥の劇場

『どろぼうがっこう』

鳥の劇場は2006年に活動を開始して2021年で15周年を迎えました。今まで応援してくださったみなさんへの「ありがとうございました」の気持ちと、これからお会いする皆さんへの「はじめまして」の気持ちをこめて、鳥取県内あちこちに出向き、鳥の劇場のレパートリー作品の中でも世代を問わず人気の高い『どろぼうがっこう』を上演しました。

期間中、新型コロナウイルスの感染拡大が進み、当初予定していた県内18会場・19回の上演はかなわず、また、上演後に実施を予定していた身体表現を体験するワークショップはいずれの会場でも実施を見合わせる事となりました。が、この『どろぼうがっこう』鳥取県内巡回を通じて、鳥の劇場のことをより多くのみなさんに知っていただき、鳥の劇場(劇場

文化)に親しんでもらうことはできたのではないかと考えています。

私たちの活動に興味を持ってくださる方、応援してくださる方の輪がもっと広がればありがたいと思っています。



【主催】鳥の劇場運営委員会
【共催】鳥取県、(米子市公演) (一財) 米子市文化財団 [米子市淀江文化センター]
【助成】令和3年度 鳥の劇場運営委員会補助金

期間

2022年2月11日(金)～3月12日(土)

実施

県内13会場 全17公演 来場者数計1,617人

- 一般(鳥取県内在住在勤の方、そのご家族)の方対象
- 学校関係者の方対象

- 2月11日(金)【若桜町】 若桜町公民館集会室 14:00開演 来場者数65人
- 2月12日(土)【琴浦町】 琴浦町赤崎地域コミュニティセンター 14:00開演 来場者数75人
- 2月13日(日)【南部町(伯耆町振替公演)】 南部町天萬庁舎3F富有まんてんホール 11:00開演(振替公演)／14:00開演(追加公演) 来場者数計92人
- 2月22日(火)【大山町】 なかやま温泉ゆーゆー倶楽部naspalわくわくホール 18:00開演 来場者数70人
- 2月23日(水)【南部町】 キナルなんぶ多目的ルーム 14:00開演 来場者数32人
- 2月25日(金)【日南町】 日南町総合文化センターさつきホール 日南町立日南小学校児童+教員=144人
- 2月26日(土)【八頭町】 八頭町船岡地区公民館 13:00開演(主催変更)／17:00開演(追加公演) 来場者数計64人
- 3月2日(水)【倉吉市】 パープルタウンパータン広場 17:30開演 来場者数49人
- 3月4日(金)【境港市】 境港シンフォニーガーデン 19:00開演(追加公演) 来場者数145人
- 3月8日(火)【湯梨浜町】 湯梨浜町立湯梨浜中学校 体育館 湯梨浜町立湯梨浜中学校生徒(1・2年生)+教員=320人
- 3月9日(水)【三朝町】 三朝町総合文化ホール大ホール 三朝町立三朝中学校生徒(1・2年生)+教員=120人
- 3月10日(木)【米子市】 米子市淀江文化センターさなめホール 19:00開演 来場者数208人
- 3月11日(金)【鳥取市】 鳥の劇場 18:00開演(追加公演) 来場者数55人
- 3月12日(土)【鳥取市】 鳥の劇場 11:00開演(追加公演)／15:00開演(追加公演) 来場者数計178人

『どろぼうがっこう』

- 原作／かこさとし
- 構成・演出／中島誠人
- 出演／みみずく：中川玲奈 くまさかとらえもん先生：齊藤頼陽 弁天じい：村上厚二 怪盗ショパン：安田茉莉 石川のろくでなし：後藤詩織 ネズミ小僧のじろきち：中垣直久 番兵：高橋等
- スタッフ／音響：原伸弘【オハラ企画】 照明：伊中昌宏 作曲：武中淳彦 ワードロープ：安田茉莉
- 舞台スタッフ：赤羽三郎 表峰七登 制作：鳥の劇場
- 【出典】『どろぼうがっこう』作・絵 かこさとし 偕成社刊

変更内容について

- ※特措法第24条第9項による外出自粛要請(区域：米子市と境港市／期間：2月9日まで)を受け、中止。
- ※「新型コロナウイルスオミクロン株感染警戒情報」発令に伴う伯耆町内施設の利用制限を受け、2月13日の上演会場を変更。
- ※特措法に基づく鳥取市における混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出自粛協力要請(期間：2月18日～3月3日)を受け、2月18日と19日の上演を中止。
- ※新型コロナウイルス特別警戒解除までの岩美町内施設利用制限を受け、2月27日の上演を中止。

等により、当初の計画(県内18会場、【主催】社会福祉法人れしーぶ1回・【主催】鳥の劇場運営委員会19回＝全20回の上演予定)を変更して、振替・追加公演を設け実施しました。

お客様の声

- はなしかけてもらってうれしかったし、おもしろかったです。(南部町(伯耆町振替)未就学女性)
- またおもしろいがっこうをやってください!(鳥取市未就学男性)
- 約10回ぐらい見ました。しゅつえん者が変わっていくと、ふんいきも変わっていたのでおもしろかったです。また、しかのにいきたいです。鳥のげきじょう好きです!(米子市小学生女性)
- くまさか先生が宿題はらくだいというところがすごくおもしろかったし、本とはすこしかわっているようなところもおもしろかったです。(南部町(伯耆町振替)小学生男性)
- 久しぶりに演劇が見れてとても面白かったです。一番はろうやの中で、はんきょうを声で表現していたところです。リアルだったし、おもしろかったです。あと、1人1人の動きやポーズがちがっておもしろかったです。私はあのちいさい女の人が好きなキャラでした。(境港市中学生女性)
- もう何回目になるかわからない「どろぼう学校」ですが、いつみても同じでない配役に毎回楽しませてもらってます。とてもおもしろかった。またみたいと思います。(米子市中学生男性)
- 前見たときよりも近くで見れて迫力を感じた。またみたいです。(境港市10代(高校生以上)女性)
- 家の近くで、劇場を見れて楽しかったです。(八頭町10代(高校生以上)男性)
- 「帽子屋さんのお茶の会」を初めて拝見してから次の公演が楽しみでした。西部で上演して頂けると行きやすいのでありがたいです。今日とてもとってもおもしろかったです、ずっと笑ってました。ありがとうございました!(境港市20代女性)
- 久しぶりに生身の人が目の前で引き起こしてくれる表現をあげることで、とても良い体験でした。日常の中では見ることのないような役者の方の動きにおどろいていた自分がいました。(鳥取市20代男性)
- コロナ禍で生の体験が減っている中、子どもにとっても良い刺激になったと思います。開催して頂いたことに感謝しています。(南部町(伯耆町振替)30代女性)
- 3歳と6歳の子どもも楽しめました。「来て良かったね」と言われました。(境港市30代女性)
- 年長と小学2年の子に行きたいか聞いたところ、絵本で見たことがあるから行きたいと即答でした。公演後も、楽しかった!明日も行きたい!と寝るまでずーっと公演の事を話していました。(米子市30代女性)
- 延期や中止などで、2/11が初日となった公演を見る事ができて、私としても記念になりました。朝間い合わせの電話をしたのですが、開演よりもういぶん前から現地での準備をされているんだなと知ると余計に楽しめました。以前見た時は鹿野の劇場で大人数だったのに対して、今回は70名とのことで、とても贅沢な時間を過ごせ、笑いもたえず子

【計画変更詳細】

- 2月8日(火)【境港市】 さかい幸朋苑ナマステホール 19:00開演
【共催】〈境港市公演〉境港市民図書館 中止 →3/4振替公演(会場変更)
- 2月9日(水)【北栄町】 北栄町立大栄中学校体育館 中止
- 2月10日(木)【江府町】 江府町立江府小学校体育館 中止
- 2月13日(日)【伯耆町】 鬼の館ホール 14:00開演 中止
→2/13振替・追加公演(会場変更)
- 2月16日(水)【日野町】 日野町文化センター(ホール森の音楽隊) 中止
- 2月18日(金)【鳥取市】 鳥の劇場 14:00開演 追加公演とするも中止
- 2月18日(金)【鳥取市】 鳥の劇場 18:00開演 中止 →3/11振替公演
- 2月19日(土)【鳥取市】 鳥の劇場 11:00開演 中止 →3/12振替公演
- 2月19日(土)【鳥取市】 鳥の劇場 15:00開演 中止 →3/12振替公演
- 2月21日(月)【智頭町】 智頭町立ちづ保育園ゆうぎ室 中止
- 2月26日(土)【八頭町】 八頭町船岡地区公民館 13:00開演
【主催】社会福祉法人れしーぶ 変更 →【主催】鳥の劇場運営委員会
- 2月27日(日)【岩美町】 岩美町中央公民館いわみんホール 14:00開演 中止

- も私も楽しみました。ありがとうございます。(若桜町30代男性)
- 4歳の息子がずっとドキドキしながら観てくれたのがうれしかったです。飽きさせない演出でとても楽しかったです。(大山町30代男性)
- 自分の住んでいる町に劇団が来てくれて演劇が見られるなんてとても贅沢なことだなと思いました。鳥の劇場さんの舞台は初めてでしたが、今回は無料で見させていただいたので、今度はチケットを買って見に行きたいと思いました。(大山町40代女性)
- 平日の公演、良かったです。学校や保育園が終わってその足で劇場へ向かうという経験はなかなかできませんが、こういう経験が積み重なって、日常の中に当たり前に観劇が存在するようになるといいなと感じました。また中山に来ていただけると嬉しいです。泣いてしまった赤ちゃんも、少し大きくなって、また一緒に観られますように。15周年おめでとうございます。これからも応援しています。(大山町40代女性)
- 子どもは時間が経つと飽きてきたり集中力がとれてしまつてソワソワしてしまいがちですが、お客をまきこんでの演出が飽きさせずよかった。本物を見せてあげられる機会があつて本当によかった。(八頭町40代女性)
- 鳥の劇場へ行きたいとずっと思っていました。なかなか鹿野まで行く機会がなかったのですが、今回境港に来てくださってとても嬉しかったです。今度は劇場まで行ってみたいと思います。(境港市40代女性)
- 久しぶりに生の演劇が見られて良かった、また劇場の方へも行きたいと思います。(琴浦町40代男性)
- 以前から見に行きたかったのですが、娘が小さく鳥取市まで見に行く時間がとれませんでした。今年、娘が5歳になり、近くで公演があるので絶対に来ようと張り切って来ました。またきます。(米子市40代男性)
- 原作以上のおもしろさでした。やっぱり生はいいですね。迫力があり最高でした。とても元気をもらいました。ありがとうございました。(若桜町50代女性)
- 地域に密着した活動がこれからも続いていくことを願っています。(米子市50代女性)
- コロナで難しい世の中、生活の中で閉塞感を感じる毎日から一歩飛び出して非日常を感じるこのひとときに面白さを感じています。鳥取に鳥の劇場があつてよかった!と思います。また鹿野へも出かけさせて頂きます。(南部町(伯耆町振替)50代男性)
- 孫をひざにだっこして孫の反応を確認しながら楽しみました。親子で楽しめる演劇もあることが分かり、また来たいと思いました。(八頭町60代女性)
- 気持ちがらくになった!(境港市60代男性)
- 孫と明日からの会話がふえた。(米子市70代女性)
- 鳥の劇場を一度見てみたいと思っていたので境港まで来ていただき有り難うございました。(境港市70代男性)

鳥の劇場15周年感謝企画 鳥取県内ツアーどこでも鳥の劇場『どろぼうがっこう』（一般向け公演） 観客アンケート集計結果

『どろぼうがっこう』（一般向け公演）	計		若桜町公演 若桜町公民館 集会室 2月11日(金)		琴浦町公演 琴浦町地域コミュニティセンター 2月12日(土)		南部町公演 富有まんてんホール 2月13日(日)		大山町公演 如夢館（多目的ホール） 2月22日(火)		南部町公演 キナルなんぶ 多目的ルーム 2月23日(水)	
上演回数	全14回		1		1		2		1		1	
観客総数	1033		65		75		92		70		32	
アンケート数	798		58		69		88		52		20	
アンケート回収率		77.3%		89.2%		92.0%		95.7%		74.3%		62.5%
この公演をどうやってお知りになりましたか?(複数回答可)	360		37		35		36		24		7	
鳥の劇場からの郵便案内	48	13.3%	4	10.8%	4	11.4%	1	2.8%	3	12.5%	1	14.3%
鳥の劇場からのメール	20	5.6%	4	10.8%	0	0.0%	4	11.1%	0	0.0%	0	0.0%
鳥の劇場に来て知った	4	1.1%	1	2.7%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
街なかのチラシ・ポスター	76	21.1%	10	27.0%	4	11.4%	7	19.4%	0	0.0%	1	14.3%
学校でのチラシ配布・ポスター掲示	95	26.4%	6	16.2%	20	57.1%	18	50.0%	14	58.3%	3	42.9%
他の施設(劇場・美術館・郵便局など)でのチラシ配布・ポスター掲示	28	7.8%	4	10.8%	0	0.0%	1	2.8%	2	8.3%	0	0.0%
ホームページ	10	2.8%	1	2.7%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%
Twitter	4	1.1%	0	0.0%	1	2.9%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
Facebook	9	2.5%	0	0.0%	2	5.7%	1	2.8%	2	8.3%	0	0.0%
新聞	18	5.0%	0	0.0%	1	2.9%	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
その他	48	13.3%	7	18.9%	1	2.9%	2	5.6%	3	12.5%	0	0.0%
その他(記述回答)			広報わかさ2、若桜たぐみの館2、児童館2、友人から		町の広報、日本海新聞		友人からの誘い、家族から、日本海新聞		知人の紹介、学校から配布、妻から			
現在のお住まいはどちらですか?	308		27		33		35		23		7	
鹿野町内	6	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取市内(鹿野町以外)	35	11.4%	6	22.2%	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取県内東部(鳥取市を除く)	27	8.8%	16	59.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取県内中部	60	19.5%	5	18.5%	30	90.9%	3	8.6%	2	8.7%	0	0.0%
鳥取県内西部	180	58.4%	0	0.0%	2	6.1%	32	91.4%	21	91.3%	7	100.0%
お住まいの市町村名を教えてください。 (鳥取市以外の方)					琴浦町5、北栄町2、湯梨浜町、大山町		米子市5、南部町、伯耆町、琴浦町		大山町8		伯耆町	
性別	730		56		65		81		49		17	
女性	468	64.1%	31	55.4%	42	64.6%	51	63.0%	29	59.2%	15	88.2%
男性	258	35.3%	25	44.6%	22	33.8%	29	35.8%	20	40.8%	2	11.8%
回答しない	4	0.5%	0	0.0%	1	1.5%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
年齢	702		52		64		76		48		17	
～6歳(未就学)	56	8.0%	7	13.5%	4	6.3%	10	13.2%	4	8.3%	1	5.9%
～12歳(小学生)	199	28.3%	11	21.2%	26	40.6%	27	35.5%	19	39.6%	8	47.1%
～15歳(中学生)	17	2.4%	3	5.8%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10代(高校生以上)	13	1.9%	1	1.9%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%
20代	15	2.1%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	82	11.7%	8	15.4%	9	14.1%	6	7.9%	5	10.4%	4	23.5%
40代	132	18.8%	9	17.3%	17	26.6%	18	23.7%	14	29.2%	2	11.8%
50代	48	6.8%	4	7.7%	2	3.1%	5	6.6%	0	0.0%	0	0.0%
60代	74	10.5%	2	3.8%	3	4.7%	6	7.9%	2	4.2%	0	0.0%
70代	55	7.8%	3	5.8%	2	3.1%	3	3.9%	3	6.3%	2	11.8%
80歳以上	11	1.6%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%
鳥の劇場企画へ来場されたことがありますか?	306		26		33		34		23		6	
来場したことがある	144	47.1%	18	69.2%	21	63.6%	12	35.3%	12	52.2%	4	66.7%
今回が初めて	162	52.9%	8	30.8%	12	36.4%	22	64.7%	11	47.8%	2	33.3%
前回来場されたのはいつごろですか?	131		17		17		12		11		5	
半年以内	27	20.6%	6	35.3%	1	5.9%	3	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
一年以内	18	13.7%	2	11.8%	1	5.9%	1	8.3%	4	36.4%	0	0.0%
一年以上前	86	65.6%	9	52.9%	15	88.2%	8	66.7%	7	63.6%	5	100.0%
年にどれくらい来場されますか?	91		13		15		4		7		3	
1回	53	58.2%	6	46.2%	13	86.7%	2	50.0%	3	42.9%	2	66.7%
2～3回	27	29.7%	6	46.2%	2	13.3%	0	0.0%	4	57.1%	1	33.3%
4回以上	11	12.1%	1	7.7%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
この企画に対してどのくらい満足していますか?	697		51		57		78		47		19	
大変満足	478	68.6%	38	74.5%	42	73.7%	58	74.4%	35	74.5%	12	63.2%
満足	184	26.4%	13	25.5%	13	22.8%	16	20.5%	9	19.1%	6	31.6%
ふつう	33	4.7%	0	0.0%	2	3.5%	4	5.1%	3	6.4%	1	5.3%
不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
かなり不満	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

※1 会場にてアンケートを配布する際、大人向けと子ども向けの2種類のアンケートを一つの袋に入れていたため、一人が複数回答している場合がある。そのために回答率が100%を超えている。
※ 会場で配布した以外に、webでのアンケート回答も可能にしていたため、同一人物が複数回答している場合もあると思われる。

八頭町公演 八頭町船岡地区公民館 2月26日(土)	倉吉市公演 パープルタウン パーティ広場 3月2日(水)	境港市公演 境港シンフォニーガーデン 3月4日(金)	米子市公演 米子市近江文化センター 多目的ホール 3月10日(木)	鳥取市公演 鳥の劇場 3月11日(金)	鳥取市公演 鳥の劇場 3月12日(土)
2	1	1	1	1	2
64 55	49 37	145 156 ※1	208 147	55 31	178 85
85.9%	75.5%	107.6%	70.7%	56.4%	47.8%

19		15		79		69		10		29	
4	21.1%	4	26.7%	6	7.6%	8	11.6%	3	30.0%	10	34.5%
0	0.0%	1	6.7%	2	2.5%	6	8.7%	0	0.0%	3	10.3%
0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%
7	36.8%	2	13.3%	30	38.0%	9	13.0%	2	20.0%	4	13.8%
3	15.8%	1	6.7%	2	2.5%	20	29.0%	1	10.0%	7	24.1%
3	15.8%	4	26.7%	3	3.8%	9	13.0%	1	10.0%	1	3.4%
0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	2	2.9%	0	0.0%	1	3.4%
0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	1	1.4%	1	10.0%	0	0.0%
0	0.0%	1	6.7%	12	15.2%	2	2.9%	0	0.0%	1	3.4%
2	10.5%	2	13.3%	17	21.5%	11	15.9%	2	20.0%	1	3.4%
親、知人		家族から、パープルタウンの案内で		日本海新聞6、新聞折込チラシ10(内、日本海新聞3、読売新聞1)、家族から8、紹介、孫に誘われて、知人、友人		日本海新聞2、家族から3、知人に聞いて2、友人2、市民劇場よりのチラシ、関係者の知人から、朝日新聞、図書館にて		友人2		家族の誘い、日本海新聞	

16		15		65		56		9		22	
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	5	22.7%
7	43.8%	0	0.0%	1	1.5%	2	3.6%	4	44.4%	14	63.6%
8	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	11.1%	2	9.1%
1	6.3%	15	100.0%	0	0.0%	1	1.8%	3	33.3%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%	64	98.5%	53	94.6%	0	0.0%	1	4.5%
河原町4、国府町、鳥取市、末広温泉町、旧鳥取市		倉吉、関金町		境港市2、鳥取市片原町		米子市2		美萩野町2、琴浦町、湖山町、西町		気高町2、八頭町、鳥取市立川町、鳥取市江津、鳥取市下味野、鳥取市上原町	

49		34		143		131		26		79	
27	55.1%	20	58.8%	97	67.8%	93	71.0%	15	57.7%	48	60.8%
22	44.9%	14	41.2%	46	32.2%	38	29.0%	11	42.3%	29	36.7%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%

45		32		139		129		25		75	
8	17.8%	1	3.1%	6	4.3%	6	4.7%	1	4.0%	8	10.7%
12	26.7%	11	34.4%	18	12.9%	32	24.8%	7	28.0%	28	37.3%
0	0.0%	2	6.3%	3	2.2%	7	5.4%	1	4.0%	0	0.0%
3	6.7%	0	0.0%	5	3.6%	1	0.8%	2	8.0%	0	0.0%
1	2.2%	0	0.0%	5	3.6%	3	2.3%	3	12.0%	1	1.3%
3	6.7%	3	9.4%	18	12.9%	17	13.2%	3	12.0%	6	8.0%
7	15.6%	8	25.0%	14	10.1%	26	20.2%	4	16.0%	13	17.3%
5	11.1%	2	6.3%	16	11.5%	11	8.5%	0	0.0%	3	4.0%
6	13.3%	4	12.5%	21	15.1%	16	12.4%	2	8.0%	12	16.0%
0	0.0%	1	3.1%	28	20.1%	9	7.0%	2	8.0%	2	2.7%
0	0.0%	0	0.0%	5	3.6%	1	0.8%	0	0.0%	2	2.7%

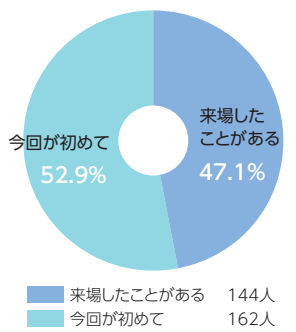
16		15		63		59		9		22	
10	62.5%	8	53.3%	13	20.6%	28	47.5%	4	44.4%	14	63.6%
6	37.5%	7	46.7%	50	79.4%	31	52.5%	5	55.6%	8	36.4%

7		6		13		26		4		13	
3	42.9%	1	16.7%	1	7.7%	3	11.5%	3	75.0%	6	46.2%
2	28.6%	0	0.0%	3	23.1%	3	11.5%	0	0.0%	2	15.4%
2	28.6%	5	83.3%	9	69.2%	20	76.9%	1	25.0%	5	38.5%

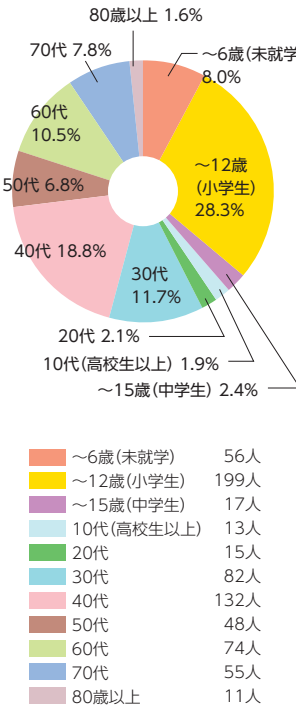
6		4		7		18		4		10	
3	50.0%	3	75.0%	6	85.7%	12	66.7%	1	25.0%	2	20.0%
2	33.3%	1	25.0%	0	0.0%	5	27.8%	2	50.0%	4	40.0%
1	16.7%	0	0.0%	1	14.3%	1	5.6%	1	25.0%	4	40.0%

53		33		131		125		27		76	
37	69.8%	22	66.7%	79	60.3%	78	62.4%	15	55.6%	62	81.6%
15	28.3%	11	33.3%	38	29.0%	42	33.6%	10	37.0%	11	14.5%
0	0.0%	0	0.0%	13	9.9%	5	4.0%	2	7.4%	3	3.9%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1	1.9%	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

鳥の劇場企画へ来場されたことがありますか？



ご来場者の年代



この

【鳥取・岡山共同プロジェクト「ライブで作ろう 元気と未来！」】

ももとしろのいってみよう！ やってみよう！

鳥取・岡山共同プロジェクト
「ライブで作ろう 元気と未来！」

【岡山県】 11月11日(木) ベイビーシアター山の音楽舎『うたのたね』
会場：西川アイプラザ 来場者数計58人

【鳥取県】 11月14日(日) 鳥取県・おやこのための劇場
人形劇団むすび座『オズのまほうつかい』 会場：ハワイアロハホール
来場者数計264人

【岡山県】 11月27日(土)・28日(日) マチに作ろう!元気と未来!
来場者数計2,895人
■岡山大道芸 会場：表町商店街・石山公園[野外ステージ]
来場者数計2,848人 出演：KANA∞(フープ/ハットジャグリング)・ldio2(コメディ)・加納真実(パントマイム/シュールコメディ)・Laby(ジャグリング)・Syau(バルーン)・桔梗ブラザーズ(ジャグリング)・AIRFOOTWORKSTWORKS(ゲストアーティスト)・ASOBIBA・藤山大樹(ゲストアーティスト)
■大きな大きな公園落書き展 会場：東中山下公園 参加者数計37人
■つながるダンス 会場：ダンススタジオbloom one 来場者数計10人
ファシリテーター：DANCE STUDIO bloom one

【岡山県】 親子で楽しむ人形劇 人形劇団ひとみ座『はれときどきびた』
来場者数計414人
■12月10日(金) 会場：笠岡市保健センター[ギャラクシーホール]
来場者数計129人
■12月11日(土) 会場：玉野市総合体育館
(レフレセンター・ミーティングホール) 来場者数計137人
■12月12日(日) 会場：百花プラザ多目的ホール
来場者数計148人



コロナ禍の中、子どもたちにアートのよこごびを届けたいと考える鳥取と岡山の人たちがつながって、11月と12月に両県各所で、大小さまざまなイベントを行い、延べ5,527人のみなさまにご来場いただきました。

生の芸術に触れるだけでなく、子どもたちやその家族のコロナ禍での孤立化を防ぐ一助になればと運営に工夫を凝らしました。そのために、鳥取県のしろちゃん・岡山県のももちゃんという本イベントオリジナルのキャラクターを作り、その等身大のパネルを各会場に設置しました。キャラクターと記念撮影をして、それらの写真がウェブで一覧できるようにし、他会場での子どもたちの様子を見ることが、つながりを感じてもらえればと考えたからです。

「子どもたちの健やかな成長にはやはり人と人とのつながりが必要です。そしてアートは人と人のつながりをうながします。」実行委員会のメンバーの思いをなんとか形にしたいと、さまざまな感染対策を共有しながら事業を運営しました。



ナシソワーズ



モモリーヌ



しろ



もも

【鳥取県】 12月25日(土)・26日(日) 「クリスマスはとりぎん文化会館であそぼう!!」

会場：とりぎん文化会館(☆のみ鳥取県立中央図書館) 来場者数計1,848人
■みんなで作ろう!「TOTT-TORA」公開製作・ワークショップ 公開製作見学者数389人
ワークショップ参加者数28人 ファシリテーター：tupera tupera 亀山達矢
■青学キッズワークショップクリスマス編 参加者数計59人
ファシリテーター：青山学院大学社会情報学部 苅宿研究室/苅宿俊文
■モジャと小松のクリスマスな映像づくり教室 参加者数計35人
ファシリテーター：服部かつゆき(映像作家)・小松亜希恵(中学校教諭)
■大人も子どももいっしょ!短いお話でお芝居を作ろう(☆) 参加者数計28人
ファシリテーター：中島諒人(鳥の劇場芸術監督)・鳥の劇場所属俳優
■鳥の劇場の子ども向け上演『がまくんとかえるくん』・『山椒魚』
来場者数計124人 出演：鳥の劇場
■山陰三ツ星マーケット 来場者数計725人
■とっとりチェンバーオーケストラ『音楽っていいな♪コンサート』
来場者数計155人 出演：とっとりチェンバーオーケストラ
■アートスタート「はじめての狂言」若駒ベイビーシアター「はる なつ あき ふゆ あそぼ あそぼ」・「でべそ版ずっこけ狂言 でんでんむしむし48」
来場者数計115人 出演：民族芸能アンサンブル若駒
■とりたん生とワクワク体験!!!うたあそび・大型人形劇・おはなし会 来場者数計190人
ファシリテーター：鳥取短期大学 国際文化交流学科&幼児教育保育学科の学生



【岡山県】 12月26日(日) はじめての音楽会「智内威雄やわらかコンサート」
会場：音楽文化ホール ベルフォーレ津山 来場者数48人

■大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業
「JAPAN LIVE YELL project」
【主催】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
鳥取・岡山共同プロジェクト「ライブで作ろう 元気と未来!」実行委員会
【実行委員会】特定非営利活動法人鳥の劇場 NPO法人みんなの劇場おかやま 特定非営利活動法人こども未来ネットワーク 株式会社ステージワークURAK 認定NPO法人ハーモニーネット未来 玉野・灘崎子ども劇場 NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 公益財団法人鳥取県文化振興財団 鳥取おやこ劇場 倉吉おやこ劇場 米子こども劇場 境港親と子どもの劇場 鳥取短期大学



【滞在制作】

■『戦場のピクニック』 ※鳥の演劇祭14プロデュース作品
(上演詳細についてはp13に記載)
出演／高橋等 中垣直久 後藤詩織
ホリユウキ (DULL-COLORED POP) 斎藤友香莉 下地萌音
滞在制作期間：6月～7月・9月 会場：鳥の劇場

【劇場連携】

■公益財団法人静岡県舞台芸術センター
(Shizuoka Performing Arts Center：SPAC) 研修
派遣メンバー：高橋等・安田茉莉・表峰七登
研修期間：12月6日(月)～19日(日) 会場：静岡芸術劇場

【大学連携】

■鳥取短期大学授業 講師：齊藤頼陽 7月5日(月) 受講生54人
■鳥取大学授業 講師：中島諒人
10月～12月・4回 受講生(延べ)12人
■鳥取大学「パフォーマンス・アート入門」演劇ワークショップ
講師：齊藤頼陽 12月10日(金) 受講生9人
■関西学院大学授業「文化政策論」 講師：中島諒人
12月16日(木) 受講生300人

【教育における劇場利用】

■三朝町立三朝中学校修学旅行 『裸の王様』上演+「短い台本を作って演じてみる」ワークショップ 4月26日(月) 来場者数57人
■鳥取市立津ノ井小学校修学旅行 『がまくんとかえるくん』上演+表現ワークショップ 6月3日(木) 来場者数45人
■鳥取大学「アートマネジメント論」受講生来場 講話+劇場見学 7月6日(火)・13日(火) 来場者数16人(延べ32人)
■伯耆町立岸本中学校修学旅行 表現ワークショップ 9月13日(月) 会場：鹿野町農業者トレーニングセンター(体育館) 来場者数75人
■北栄町立大栄中学校修学旅行 表現ワークショップ 9月23日(木) 会場：旧勝谷小学校(体育館) 来場者数68人
■鳥取市立津ノ井小学校1・2年生校外学習 『がまくんとかえるくん』上演+表現ワークショップ 10月28日(木) 来場者数76人…(★)
■鳥取県立境港総合技術高等学校 じゅう劇場稽古見学・芝居を体験(やってみる)・ワークショップ体験 11月5日(金) 来場者数10人
■鳥取県立青谷高等学校 「地域環境芸術」鳥の劇場での現地学習(施設案内+活動紹介+普請WS) 11月10日(水) 来場者数20人
■鳥取市立北中学校 職業インタビュー 11月25日(木) 来場者数60人
■鳥取県立鳥取西高等学校 研修(じゅう劇場) 11月30日(火) 来場者数290人

(★)…[ 文 井 子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業 (学校による提案型)]



【その他】

■サポーター報告会 7月3日(土)
来場者数13人 zoom参加者数15人
■鳥劇さんとする本気のきもだめし「みんなの食堂」・「本気のきもだめし」・ブラックシアター「ひゃくものがたりとゆうれい」(読み聞かせグループさくらんぼ) 7月27日(火) 来場者数120人
【主催】けたかくるりこども食堂 【共催】特定非営利活動法人鳥の劇場



■一般財団法人全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」上映会・ミニ手話講座・鳥の劇場タイム 講話：中島諒人
7月30日(金) 来場者数37人
【主催】公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
【協力】特定非営利活動法人鳥の劇場
■さんいんスペシャル「となりのアーチスト」
ナレーション出演：齊藤頼陽 収録日：9月15日(水)
放送日：9月17日(金) NHK鳥取放送局 総合(鳥取県・島根県向け)
■写真家・水本俊也「アートにまつわる和紙の話」
ファシリテーター：中島諒人 10月29日(金)
会場：ギャラリー鳥たちのいえ 来場者数14人
■鳥取市立中央図書館 鳥の劇場紹介展示
期間：11月15日(月)～30日(火)



■鳥取県立図書館 童話の世界とお芝居：鳥取・岡山共同プロジェクト
「ライブで作ろう 元気と未来!」のプログラムのうち、
演劇ワークショップ「短いお話でお芝居を作ろう」に関連する展示
期間：12月1日(水)～12月27日(月)
■若桜郷土文化の里たくみの館 たくみの館企画展「鳥の劇場展inわかさ」
期間：1月8日(土)～1月30日(日)

【見学・視察訪問等】

年間計59人
■劇場見学／35人
■視察・ヒアリング調査／24人

【ボランティア】

7月～9月まで主に「演劇祭14」準備・実施期間において、DM作業・衣装手伝い・台本チェック・受付準備・カフェのお手伝い・消毒清掃・お弁当作りなど、延べ49人の方々が携わってくださいました。ありがとうございました。

報道資料



日本海新聞 2021年(令和3年)4月27日 火曜日



日本海新聞 2021年(令和3年)8月22日 日曜日



日本海新聞 2021年(令和3年)8月27日 金曜日



毎日新聞 2021年(令和3年)7月31日 土曜日



日本海新聞 2021年(令和3年)9月7日 火曜日

「国」2

招待劇団の
上演中止に
11日開幕の鳥の演劇祭」
11日から鳥取市野町の
鳥の劇場で始まる「鳥の演
劇祭運営委員会」は、新型コロ
ナウィルス感染症の影響で
県外から招く劇団の上演な
どを中止するのを発表した。
新型コロナ特報法に基づ
く鳥取県の外出移動の自
由の制限を受け、16日、18、
19、25、26日に上演予
定だった「新緑楽（東京都）
」による無声劇「おせんこ」
と、静岡興舞子会「おせま
」による演劇「みつばち共
和国」2公演を中止。代わ
りに鳥の劇場・劇団員によ
る戦場のヒートック「す
てきな三たてみ」を上演
する。各週末に開催を予定して
いた果樹園の自然体験イベ
ントや、会場のモーター
カーの出店なども取りやめ
る。来場者鳥島取、豊根岡
町と兵庫県の香美、新温泉
町の住民に限定。有料で
各公演や企画をライブ配信
する。
ライブ配信のチケットは「
専用サイトで購入が可能」
とい、問い合わせは電話0857
(84)36112。
(松本妙子)

日本海新聞 2021年(令和3年)9月8日 水曜日

鳥取市鹿野町の廃校跡を拠点とする劇団・劇場『鳥の劇場』の運営委員会は11～26日、14回目の「鳥の演劇祭」を開く。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、恒例の鳥取県外からの劇団招待を急ぎ中止。来場者は山陰地方（兵庫県香美、新温泉町を含む）に限定し、有料のライブ配信を併用する。異分野の専門家の講演や対談を交え「コロナ後」の地方の未来を多角的に考える。

土日曜の計6日間、12日は午後1時半から、障害者と健常者が共に活動する「じゆう劇場」が登場。恋愛と差別を切り口に一人一人の多様な豊かさを浮かび上がらせる「ロミオと

「コロナ後」の地方を考える

鳥の演劇祭あす鳥取で開幕

『ジュリエット』から生まれたもの」を披露する。「鳥の劇場」は両日の午後6時半と残る4日間の各2回、独裁者と大衆の行く末を描く『プレヒト版『アンティゴネ』』など3演目を計10回上演する。

社会学者や建築家、絵本作家たち異分野の専門家にによる講演や対談、ワークショップもある。

演劇は大人2500～1500円、18歳以下500円～無料。講演や対談、ワークショップは大人千円、18歳以下500円。ライブ配信はウェブでの申し込みが必要で演劇1500～千円、講演と対談は千円。鳥の演劇祭14**08**087(84) 3612、<https://www.birdtheatre.org/engekisai/>（小畑浩）

中國新聞 2021年(令和3年)9月10日 金曜日

演劇が映す「コロナ後」社会

今年で14回目の「鳥の演劇祭」が11日から岐阜県津市、津野の鳥の劇場で始まる。コロナ後の社会あり方を多々えと、開催する上、日曜こにテーマを設定し、演劇・対

ばとしている。26日まで。鳥の演劇祭は2000年に始まり、翌年より向かいの海外の劇場を招き、規模を拡大。19年に延べ約73000人が訪れた。

談、ワークショップを企画し、主催する鳥の劇場運営委員会は「地方の脅きの未来も含め、多角的に考えよう」とえ

11、12日のテーマは「私」の向こう側を見る。鳥の劇場芸術祭の中座談会。さんは「現代社会は私利私欲の追求に

走りがち。私にたわすりする私を顧みることができない」と話す。

社会学者大塚真幸さんなど、障害者の芸術活動も支援する「たんぽぽの家」（奈良市）の理事長・播磨清太さんが演劇

し、対談。演劇は、障害のある人となない人作る「ロミオとジュリエット」から生れたもの

の「と、ベリヤ」劇の改作「フレンチ版「ロミオとジュリエット」」と上演していると、アンテイスは現代杜社社の批評

18、19日は過去を通し、現代を考える「過去との向こうに何を求める？」。中座さんの新作「戦場のヒクニック」の上

今回の鳥の演劇祭で上演予定の「フレンチ版「ロミオとジュリエット」」は鳥の劇場提供

上演、中座さんの対談ワークショップがある。

25、26日は「国」の向こ

鳥取であすから 講演やワークショップも

「何をみる？」。中島さんはコロナ後の社会を考へ、「手で物をとる」という行為を改めて考えるのもいい」と話す。絵本作家・教育家の講演と対談、絵本をもとにした鳥取劇場の演目「すきまに三匹」の上演がある。

鳥取県内でも劇団コロナウイルス感染症拡大が続き、当初予定した演六つものうち、県外の上演地にもなる二つが中止になった。来場者には山崎岡、兵庫興會堂、新郷地区の町の住往者に限して、演劇的な企画をライブ配信（有料）する。

演や小講演・無料もある。
予約電話：0857-84-3296
ウェブページ：<http://bit.ly/www.lighthouseart.co.jp/cenksai>）など。会場はFRC興會堂（鳥取駅を結ぶ無料送迎バスが運行される予定）

(江相修)

朝日新聞 2021年(令和3年)9月10日 金曜日

[illegible][illegible]

毎日新聞 2021年(令和3年)9月9日 木曜日

[illegible]

朝日新聞 2021年(令和3年)9月10日 金曜日

資本主義の
限界を指摘

社会学者、大沢氏
鳥の演劇製作で講演

鳥取市野町鷹の鳥の
演劇製作で、鳥の
演劇14で、著名社会
学者の大沢真幸氏62が講
演した。

「コロラドでの特長主義や
未来主義の考え方を
つづけてる大沢氏11
日、鳥取市野町鷹の
鳥の劇場」

演じた、新型コロナウィ
スに翻弄されている資本主
義の現状、将来迫つた
人々の未来を、現代を重
要性を語った。

大沢氏は専門は組織社会
学で、代表著「THE
KNOWING CO.」を主宰
する。自由と「懲罰」
「コロラドの哲学」など
多くの書がある。

この日の演題テーマは
「新しいシステムへま
人新世のなかから考
える。人間が自然と。反
逆されたコロラドの現
状を踏まえ、成長、続けな
ければならない資本主義の限
界を語ら。」「10万円給付や
ロケット舟の政変につ
ても、人は「購買主義を
否定しきだ。今の経済を

日本海新聞 2021年(令和3年)
9月12日 日曜日

[illegible]

日本海新聞 2021年(令和3年)9月14日 火曜日

[illegible]

朝日新聞 2021年(令和3年)9月18日 土曜日

コロナ禍こそ芸術の力

「鳥の演劇祭14」鹿野で開幕

じゅうつ劇場の演目「ロミオとジュリエット」から生まれたものの一場面。11日、鳥取市鹿野町鹿野の鳥の劇場。



「鳥の演劇祭14」(鳥の劇場)による新演劇を皮切りに、26日まで10日続いた。鳥取市鹿野町鹿野の鳥の劇場。中心に演劇や専門家の対談、ワークショップを展開した。障害のあるといえる未来を造る。」「ロミオとジュリエット」から生まれたものの一場面。11日、鳥取市鹿野町鹿野の鳥の劇場。

開演。今年は新型コロナウイルスの影響で、県外劇団の招聘をとりやめ、4作品を上演する。来場者は鳥取、島根県民、兵庫県赤松町・新温泉町の在住者に限定し、演劇や講演のライブ配信を行っている。

初日は、じゅうつ劇場による演劇「ロミオとジュリエット」が生まれ、「ロミオとジュリエット」が初めてお披露出された。シエクスピアの「ロミオとジュリエット」を基にした作品。愛と冤罪を主題とし、生と死をテーマとする。現代人に、分かち合えない大切なものを内省、出演者は障害者、一人観客の進歩など、自己の経験や願いを劇中に込めて生を生きと演じた。

中津原人監督は「コロナ禍だからこそ、一緒に未来を考へたい。『小さなコミュニティ』の可能性」を多角的に思える場になった」と語った。(松本孝子)

日本海新聞 2021年(令和3年)9月12日 日曜日

[illegible]

日本海新聞 2021年(令和3年)9月21日 火曜日

「保存局」

新たな自分、新たな未来へ

あいさぽーと アーとっとし 祭

令和3年度
鳥取県障がい者
就労支援事業

秋の足音とともに「あいさぽーと・アートとっとし」(令和3年度)鳥取県障がい者就労支援事業の事業がやってきました。新設のクラウドファンディングを活用して、オンラインで開催しました。皆さんの前で音楽や演劇などさまざまな項目が盛りだくさんです。皆様もふるふる喜ばれながら、みなさんが笑顔から溢れだすこと間違いなしです。

視聴 無料

開催 10/16(土) 17(日) 両日とも
10:00~15:00

Web開催・ライブ配信

<https://aisupport-matsuri.jp/live.html>

「おまかせ」のモノをいかに付て
Q zoomで観覧しよう!

大会協賛メンバーのzoomID
1585をスクリーン共有の出演者より
確認してください。

「おまかせ」のモノをいかに付て

Q zoomで観覧しよう!

大会協賛メンバーのzoomID
1585をスクリーン共有の出演者より
確認してください。

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10:00~15:00

10/17(日) 10:00~15:00

10/16(土) 10

日本海新聞 2021年(令和3年)10月15日 金曜日

[illegible]

日本海新聞 2021年(令和3年)10月15日 金曜日

[illegible]

日本海新聞 2021年(令和3年)10月15日 金曜日

あす・あさって
オンライン開催

鳥取県障がい者舞台芸術祭
あいサポート・アートとっとり祭

所以成島特別支援学校と行事実行委員会による活動の様子

**障がいのあるなし
関係なく誰でも参加**

「障がいがあるから参加できない」という考えをなくし、障がいのあるなしに関係なく、誰でも参加できる機会を提供します。

**音楽
演劇
ダンス**

多彩なステージ配信

「あす・あさって」では、音楽、演劇、ダンスなど、多彩なステージ配信を行います。視聴者も、それぞれの表現に感動し、心を癒やします。

DJ YUTAさんによるDJパフォーマンス

DJ YUTAさんゲスト出演

「あす・あさって」では、DJ YUTAさんがゲスト出演します。最新の音楽を聴きながら、楽しい時間を過ごしてください。

**小生
の
希望**

「あす・あさって」を通じて、障がいのある人々の希望を叶えたいです。みんなの力で、より良い社会を作りたいです。

オレンジ色を身に着けよう

「あす・あさって」では、オレンジ色の衣装を着るイベントを行います。みんなで笑顔で参加しましょう。

じやうきゅういっしょいまだぜ、ウォルマートへい

「あす・あさって」では、ウォルマートへいというイベントを行います。みんなの力で、より良い社会を作りたいです。

[illegible]

日本海新聞 2021年(令和3年)10月16日 土曜日

「みんなが楽しい世界に」

あいサポート・アート
フェスティバル
は、7日、米子コンベンションセンターで観客者によるダンスなどのパフォーマンスが行われ、共生社会実現を願うのがライオネルを迎えた。

新型コロナウイルス感染症防止のため、無観客で日間にも関わらずライブ配信され、計1組の団体・個人がステージやホールパフォーマンスを披露した。

フナールは、県立えいお福祉局の山崎真由美長が「あいサポート」で自分にもできることがないか考えながら作られた「ほしい」と呼び掛けた、ゲートのロケット球を使った

あいサポート・アート
フェスティバルが2014年の全国大会（シンク「みんな色の界」）を芸術・文化祭のテーマで、手紙付きで歌った。

たくさん笑顔の中でフィナーレを迎えたあいサポート・アートとつり祭＝17日、米子コンベンションセンター

日本海新聞 2021年(令和3年)10月18日 月曜日

中村医師の功績しのぶ

鳥取 追悼セミナーに150人

アバガミスタンで2001年12月に銃撃されて亡くなった民間活動団体（NGO）「ベジャール会」(Bangladeshi People's Justice Party)の現地代表を務めた医師中村さん(55)が鳥取市を追悼しようと、鳥取市

さんか会館で13日、中村さんに關するセミナーが開かれ、約150人が参加した。セミナーでは、中村さんが19年5月に鳥取市で行った講演の内容を振り返った後、ベジャール会ととり代表の浜本純造さん(83)が、劇団「鳥の劇場」(鳥取市)の芸術監督・中島諒人さん(55)と中村君医師の縁の意志を受け継ぐをテーマに対談。中村さんが現地の人たちと協力して用水路を整備したことを引き合いに、顔の見える関係で連携しながら物事を進めていくことの重要性などについて意見交換した。

セミナーは21日「米子市

浜本さん(左)と対談する中島さん(鳥取市)



朝日新聞 2021年(令和3年)11月14日 日曜日

[illegible]

日本海新聞 2021年(令和3年)10月17日 日曜日

○ とっとりナビ

展覧会

- ◆第1回阿ふゆみ作品展 11月1日まで、鳥取市立アトリの中心ホール。市内各所に小規模展示。会場に地域の情報や、60～80年代のアート界の作品約30点。写真、はたけ田舎など。
- ◆「いさよの巻」入場券販売。阿ふゆみの制作日記を収録。おまけの付録付き。(入場券：大280円・中200円)
- ◆山根寛一、石島幸二の陶展 11月2日まで、鳥取市立美術館にて上段2階ギャラリーにて(0857・286・2367)。同市博物館と共催。石島幸二の陶器、スワップマーケットのワークショップなど500点を展示発表。4日は休業。
- ◆人間国宝室前館開館『白雲の世界』11月30日まで、香取町香取の国指定重要文化財「石谷春樹宅」(0857・75・3504)。鳥取県博物館で休館する期間55点展示。11月2日11時と4時に、はね田さんのギャラリーで開催。入館料は大人数、高校生500円、小学生400円。12月1日と10日に恒例の特典特別鑑賞会を開催。学生以上対象で、観覧料は200円。水曜休館(祝日の場合は翌日)。
- ◆第13回たまいつかきとアトリエKの子どもたち「ソラノカミの物語」11月5日～9日、水子市立中央公民館。市内の「たまたみつきの自然教室」で展示。歳から大人まで8人の自由作品110点を展示。A無料。問い合わせはアトリエK(0859・34・0057)。

会と催し

- ◆鳥取市文化財団4歳鑑展覧会スタンプラリー 11月30日まで、鳥取市にある市庁舎・物産館(上野)、市立博物館美術館(南河内町)、民権記念公園文化センター(関町2丁目)、城下町ことり堂蔵書館(西大町)の1施設をめぐり、各施設に設置された文字をすべて計8文字のスタンプを取った者として先着順に人品品をプレゼント。物品の抽選場所は後決まる。問い合わせは市歴史資料館(0857・23・4110)。11月2日を除く月曜、休日の翌日(高砂除く)休館。

講座・講演

- ◆第5回全日本健康老化学会記念講演会 11月21日2部5分・14分51分。吉倉弘毅先生の食生活や古交、朝日新聞徳島版に掲載している「とっとり旬味」の講演で、食生活、食習慣の改善と一人ひとりの、平明な話し方について話して頂きます。入場無料。申込先：市事務局(井上さん=0857・77・3428)。
- ◆映画『Alau』といとの風景とお話を 11月13日13時45分、14時半、倉吉市駄馬寺町の倉吉東栄中心ホール。アイヌ文化を継承する4人のドキュメンタリー映画(南郷美穂監督)を観映。伊予文芸協会の協賛で開催。「イヌ」の現況とアイヌ語の知識、「アイヌ」の有識者の御膳土主さんらが「アイヌ文化政策論」制定についてたいご意見を述べて話す。申し込み要。入場無料。実行委員会事務局(三谷さん=090・1688・1478)。
- ◆市町村医師第二周忌 連絡せよとて写真展(11月中旬秋葉区役所にて)。そのほか、伊予ガスステーションの協賛支援などに力づいた市町村医師の顕彰会誌の上映、ベシツマリ会と合同での紙張紙張の展示、市民の意見募集など。11月13日鳥取市役所4丁目の3号会議室で開催。対象者は市の新築建築費交付申請審査委員会の中職人員さん。21日は本市中の市立図書館と鳥取大学工学部附属図書館と共催。鳥取市立図書館は、23日は吉倉市議事所の食堂で開かれ、審査委員会の多様な形でもぜひ開催する。いずれも14～16時、申し込み不要。入場無料。事前の日程で伊予ガスステーションの協賛などを組み合わせたワークショップ等(事務局 倉吉さん=090・2804・0008)。

新居工口建設業者の影響で、熊しが中にも大変なことになる場合もある。お出向が前に主要なごごごごをお願ひします。

朝日新聞 2021年(令和3年)10月30日 土曜日

中村さんの二周忌を前にペンキョウル会とつとりが企画、中村さんとも所属したペンキョウル会の藤田千代子PMS文芸筆長はビデオメッセージで「現地は厳しい干ばつに見舞われているが、中村さんが支援してきだ場所には青々と農産物を生み出ししている。困っている人から提議をそそぎ、自分だけできることをやろうとたえた」。

同会とつとりの浜本純彦代表と、鳥の劇場の中島源人芸術監督による対談もあり、浜本代表は「(政治情勢が変化しても)人々が自らの力で生きられるようサポートしてきだ彼の仕事をしっかりと胸に刻んでおきた」と話した。

19年11月鳥取市内で行われた中村さんによる講演会の模様も上映され、約1800人が聴講した。

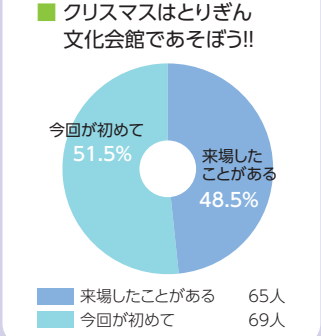
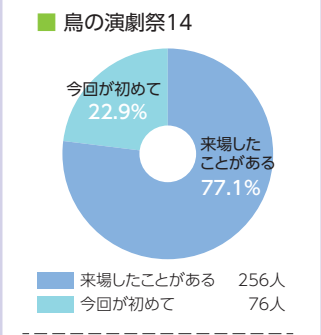
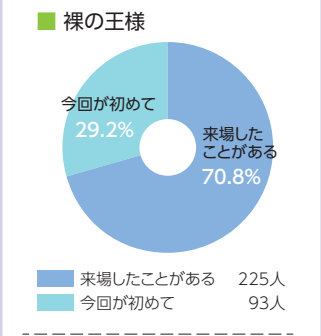
(竹久祐樹)

日本海新聞 2021年(令和3年)11月14日 日曜日

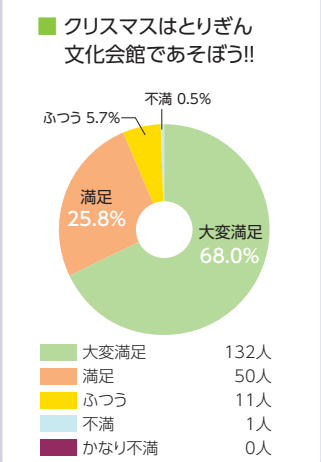
【資料1】鳥の劇場 2021年度プログラム 観客アンケート集計結果

2021年度	創るプログラム 『裸の王様』		鳥の演劇祭 14		鳥取・岡山共同プロジェクト 『クリスマスはとりぎん 文化会館であそぼう!!』	
来場者数 (期間限定ストリーミング配信視聴数)	750	(10)	1263		1848	
アンケート数	323		332		239	
アンケート回収率		43.1%		26.3%		12.9%
この公演をどうやってお知りになりましたか?(複数回答可)	314		321		224	
鳥の劇場からの案内	173	39.5%	231	42.6%	92	31.8%
郵便	126	72.8%	152	65.8%	70	76.1%
メール	42	24.3%	62	26.8%	9	9.8%
劇場で	5	2.9%	17	7.4%	13	14.1%
チラシ・ポスター	161	36.8%	124	22.9%	140	48.4%
街なか	66	41.0%	62	50.0%	46	32.9%
若桜街道ペナント			12	9.7%		
学校	73	45.3%	28	22.6%	85	60.7%
他の施設	22	13.7%	22	17.7%	9	6.4%
各種メディア	52	11.9%	125	23.1%	28	9.7%
WEBサイト	30	57.7%	66	52.8%	9	32.1%
SNS(Twitter・Facebook)	8	15.4%	37	29.6%	15	53.6%
タウン情報誌(うさぎの耳)					1	3.6%
新聞	14	26.9%	22	17.6%	3	10.7%
その他	52	11.9%	62	11.4%	29	10.0%
その他(記述回答)	友人、知人、家族、 授業の一環、大学		ふるさとloveとっとり、総合相談セン ターどれみ、NHKTVローカルニュース、 友人・知人、家族、出演者、小鳥の学校		たまたま通りがかった、 友人、知人、家族、出演者	
現在のお住まいはどちらですか?	320		332		218	
鹿野町内	13	4.1%	45	13.6%	2	0.9%
鳥取市内(鹿野町以外)	149	46.6%	144	43.4%	176	80.7%
鳥取県内(鳥取市以外)	134	41.9%	135	40.7%	36	16.5%
鳥取県外	24	7.5%	8	2.4%	4	1.8%
国外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取県内	296		324		214	
鳥取県東部	182	61.5%	213	65.7%	196	91.6%
鳥取県中部	64	21.6%	64	19.8%	8	3.7%
鳥取県西部	50	16.9%	47	14.5%	10	4.7%
県外内訳	千葉1、福井1、奈良1、 京都2、兵庫4、岡山10、 広島1、島根2、大分2		島根6、兵庫2		東京2、神奈川1、島根1	
性別	319		327		228	
女性	208	65.2%	176	53.8%	150	65.8%
男性	111	34.8%	150	45.9%	77	33.8%
回答しない	0	0.0%	1	0.3%	1	0.4%
年齢	321		329		228	
10歳未満 〜6歳(未就学)					23	10.1%
10歳未満 〜9歳(小学校低学年)	25	7.8%	21	6.4%	53	23.2%
10代	37	11.5%	34	10.3%	37	16.2%
20代	17	5.3%	29	8.8%	4	1.8%
30代	41	12.8%	36	10.9%	34	14.9%
40代	80	24.9%	67	20.4%	53	23.2%
50代	51	15.9%	45	13.7%	15	6.6%
60代	42	13.1%	74	22.5%	7	3.1%
70代	19	5.9%	19	5.8%	1	0.4%
80歳以上	9	2.8%	4	1.2%	1	0.4%
鳥の劇場(企画)へ来場されたことはありますか?	318		332		134	
来場したことがある	225	70.8%	256	77.1%	65	48.5%
今回が初めて	93	29.2%	76	22.9%	69	51.5%
前回来場されたのはいつごろですか?	217		199		51	
半年以内 昨年[鳥の演劇祭13]	90	41.5%	114	57.3%	20	39.2%
一年以内 一昨年[BeSeTo演劇祭26+鳥の演劇祭12]	33	15.2%	49	24.6%	9	17.6%
一年以上前 二年以上前	94	43.3%	36	18.1%	22	43.1%
年にどれくらい来場されますか?	173		231		36	
1回	61	35.3%	26	11.3%	14	38.9%
2〜3回	82	47.4%	49	21.2%	12	33.3%
4回以上	30	17.3%	156	67.5%	10	27.8%
この公演に対してどのくらい満足していますか?	262		247		194	
大変満足	152	58.0%	141	57.1%	132	68.0%
満足	95	36.3%	97	39.3%	50	25.8%
ふつう	13	5.0%	8	3.2%	11	5.7%
不満	2	0.8%	0	0.0%	1	0.5%
かなり不満	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%

鳥の劇場(企画)へ
来場されたことがありますか?



この企画に対して
どのくらい満足していますか?



※「アンケート数」と「総回答数」の誤差は、感想のみ記載の回答があるためです。
※設問の違いにより空欄部分があります。(特別に項目を設けている箇所は文字に色をつけています。)

【資料2】鳥の劇場 2021年度収支決算

収入の部

科目	2021年度		2020年度		比較
	決算額(a)	構成比	決算額(b)	構成比	
チケット収入・受講料 ※1	3,591,400	3.6%	2,149,700	1.3%	1,441,700
外部上演料・講師料・出演料等	16,958,309	16.9%	12,200,233	7.2%	4,758,076
受託費	58,268,407	58.1%	99,151,072	58.3%	△ 40,882,665
鳥カフェ・物販売上	502,592	0.5%	760,515	0.4%	△ 257,923
雑収入	2,588,763	2.6%	5,374,942	3.2%	△ 2,786,179
寄付金(サポーター) ※2	7,680,000	7.7%	6,800,000	4.0%	880,000
寄付金(企業協賛ほか)、受取会費	50,000	0.0%	75,359	0.0%	△ 25,359
助成金・補助金	10,713,000	10.7%	43,612,277	25.6%	△ 32,899,277
合計(A)	100,352,471	100.0%	170,124,098	100.0%	△ 69,771,627

※1 2020年度：鳥取市文化芸術活動緊急応援プロジェクト「地域でがんばる民間ミュージアムの応援事業」からの50万円を含む
※2 2020年度：376人／1,329口、2021年度：399人／1,536口(人数には団体や法人を含む)
2020、2021年度ともに、公益社団法人企業メセナ協議会の助成認定制度を活用した寄付金含む
2020年度「戦争で死ねなかったお父さんのために」公演に対し：1,215,000円、2021年度「小鳥の学校」事業に対し：1,700,000円

支出の部

科目		2021年度		2020年度		比較
		決算額(a)	構成比	決算額(b)	構成比	
事業費	メンバー人件費	32,798,400	35.5%	40,294,620	24.2%	△ 7,496,220
	その他	43,754,976	47.4%	107,153,664	64.4%	△ 63,398,688
管理費・その他		15,755,172	17.1%	19,067,515	11.5%	△ 3,312,343
合計(B)		92,308,548	100.0%	166,515,799	100.0%	△ 74,207,251

収支差額(A)－(B)	8,043,923		3,608,299		
-------------	-----------	--	-----------	--	--

助成金・補助金内訳

科目		2021年度		2020年度		比較
		決算額(a)	構成比	決算額(b)	構成比	
ごうぎん鳥取文化振興財団		0	0.00%	300,000	0.69%	△ 300,000
文化庁 ※1		6,000,000	56.01%	27,189,197	62.34%	△ 21,189,197
鳥取県 ※2		3,356,000	31.33%	13,360,000	30.63%	△ 10,004,000
その他 ※3		0	0.00%	20,000	0.05%	△ 20,000
コロナ関連 ※4		1,357,000	12.67%	2,743,080	6.29%	△ 1,386,080
合計		10,713,000	100.00%	43,612,277	93.71%	△ 32,899,277

※1 2020年度：劇場音楽堂等機能強化推進事業
2021年度：令和2年度第3次補正予算ARTS for the future! (コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業)
※2 2020年度：令和2年度文化芸術地域モデル全国発信事業補助金
2021年度：令和3年度文化芸術地域モデル全国発信事業補助金／鳥取県文化芸術活動支援事業
※3 2020年度：鹿野町での開催事業に対し鹿野町文化団体連絡協議会より
※4 2020年度：文化庁／日本芸術文化振興会 文化庁令和2年度第2次補正予算事業「文化芸術活動の継続支援事業」：150万、文化庁：107,000、鳥取県令和2年度アートの灯を守る! とっとりアート支援事業補助金：946,000、鳥取市観光産業育成支援事業補助金：19万ほか
2021年度：文化庁：文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備補助金 857,000
鳥取県：コロナ禍打破特別応援金40万、コロナ禍打破安心対策認証店加算10万

鳥の劇場運営委員会への補助金

◎「鳥の演劇祭14」・「豊岡連携」・表現WS「トリジューク」・「どろぼうがっこう」ツアー 鳥取県「鳥の劇場運営委員会補助金」	45,980,750円
※文化庁「文化芸術創造拠点形成事業」からの補助金を含む 鳥取市「鳥取市文化芸術事業に関する補助金」	1,000,000円
◎「じゅう劇場」 鳥取県「鳥取県障がい者と健常者がともに作る芸術事業補助金」	18,960,967円
※文化庁「文化芸術創造拠点形成事業」からの補助金を含む 鳥取県障がい者アート活動支援事業補助金	193,270円

